

目 次

目 次	1
I. 2012（平成 24）年度の主な活動	3
* 2012（平成 24）年度入館者一覧	4
II. 資料の収集・利用	5
II - 1 資料の収集	5
1) 受 贈	5
2) 寄 託	5
II - 2 資料の利用	6
1) 貸 与	6
2) その他	6
III. 展示活動	7
III - 1 総合展示	7
1) 〈京の歴史〉ゾーン	7
2) 〈京のまつり〉ゾーン	9
3) 〈京の至宝と文化〉ゾーン	13
4) 3階展示室	21
III - 2 特別展示	22
* 2012（平成 24）年度特別展一覧	32
III - 3 展示協力	32
1) 海外展への協力	32
2) 京都府民ギャラリー事業への協力	33
III - 4 映 画	34
1) 常設上映	34
2) 特別企画・共催事業	35
3) 映像ギャラリー資料展示	38
4) 京都府映像文化センター運営委員	38
III - 5 その他	39
IV. 調査研究活動	40
IV - 1 学芸員の活動	40
1) 研 究	40
2) 出講・委嘱	40
3) 業 績	41
V. 普及活動	43
V - 1 出版物	43
1) 研究紀要『朱雀』	43
2) 年 報	44
3) 展覧会図録	44

V - 2	講演会・音楽会	45
1)	講演会など	45
2)	音楽会	46
V - 3	学習普及活動	47
1)	ボランティア	47
2)	「ぶんぱく子ども教室」事業	47
3)	団体見学案内	50
V - 4	博物館実習	51
V - 5	資料・情報公開	51
1)	資料閲覧室	51
2)	ホームページによる広報とコンテンツの提供	51
V - 6	外部連携活動	52
1)	他館との連携	52
2)	地域との連携	53
V - 7	京都文化博物館友の会	54
1)	会 員	54
2)	事業概要	55
VI.	ギャラリー事業	56
VI - 1	5・6階展示室	56
1)	京都文化財団展示室運営委員会	56
2)	美術・工芸作家の利用	56
3)	生涯学習的発表期間の利用	57
4)	一般の利用	58
VI - 2	別館ホール	59
VII.	管理・運営	61
VII - 1	組織と職員	61
1)	組 織	61
2)	京都文化財団	61
3)	京都文化博物館	62
VII - 2	施 設	63
1)	本館関係	63
2)	別館関係	63
VII - 3	館内店舗	66
1)	ろうじ店舗	66
2)	別館店舗	66
3)	博和会・ろうじ行事	66
VIII.	2012（平成24）年度のあゆみ	67

※本文および表中の敬称は、一部略させていただいた。

I 2012(平成24)年度の 主な活動

前年度に行った京都府京都文化博物館の大規模なリニューアル事業が完了し、2012年度はリニューアル後初めての12ヶ月を通じた運営となり、リニューアルによる施設及び運営の改善成果を検証するためにも重要な年となった。

リニューアルについては、利用者の皆様から概ね好評をいただいた。エントランスを広くしたことにより博物館の印象が明るくなったこと、フィルムシアターが生まれ変わったように快適になったことを挙げる声が多く、「常設展示」から「総合展示」に大きく変わった2階の展示についても、国宝、重要文化財などの貴重な資料を展示し好評をいただいたが、一方で精緻な模型等による従来の「常設展示」を懐かしむ声もあったところである。こうした声にもお応えしようと、従来の常設展示でも特に評価が高く、人気のあった羅城門模型を総合展示の一環として「京の至宝と文化」コーナーで展示を行った。こうした柔軟な対応が可能となったこともリニューアルによる総合展示の長所であり、また来館者の声に応えていくという博物館側の意識改革が少しずつ進みつつあることを示しているともいえる。しかし、全体としては極めて貴重な資料が展示されているものの、そのことが広く伝わっておらず、来館者の増加につながっていないことが課題であり、総合展示についての広報等の取組を強化していきたい。

特別展については、「芹沢銈介展」「NHK大河ドラマ50年特別展—平清盛」「世界遺産 ヴェネツィア展」「シャガール展2012」「日本画 こころの京都」など、年間で約27万人の入館者を数えるとともに、内容についても貴重な資料を分かりやすく展示し説明することに努め、好評をいただいた。さらに関連イベントの開催や記念撮影スポットの提供など来館者に楽しんでもらえる知的エンターテインメント性を付加するよう努めるとともに、ヴェネツィア展のマスクラをかたどった割引券など特徴あるPRの展開やペアチケットの販売等を行うなど若年層を中心に、従来あまり博物館に足を運ばなかった方々へのアピールを強め、一定の成果があったものと考えている。

また、12月15日～1月14日までの間「八瀬童子 一天皇と里人」を開催した。3階の総合展示室においておこなった企画展であり、京都文化博物館が京都文化の紹介という使命を果たしていく上での館の方向性を示す展示として極めて重要なものとなった。京都市左京区八瀬地域に平安時代から居住する八瀬童子は比叡山延暦寺や天皇・公卿・将軍や時の権力者と深くかかわりをもって生きてきた特異な歴史をもつ。これらの歴史を語る資料が一括して平成22年に重要文化財に指定された。これを機に、これまで調査をおこなってきた京都市歴史資料館の研究者と連携して開催した展覧会である。京都の研究機関等と連携することによって京都の歴史、民俗、文化等に関する研究や調査に立脚し、地域資料の継承に尽力されている地域の方々の理解と協力を得て、分かりやすい形で展示するという博物館がめざしている形が実現した。「八瀬童子展」には多くの方から驚きや感動の感想が寄せられただけでなく、専門家からも高い評価をいただいた。こうした取組を重ねていくことが今後の博物館の大きな基盤になると考えており、改めて京都市八瀬地区の皆様、京都市歴史資料館、協賛いただいた企業などの関係機関及び関係者に感謝を表したい。



「八瀬童子 一天皇と里人」展 会場風景



「日本画 こころの京都」展 会場風景

2012年度特別展の総入場者数は 270,718人、総合展の入場者数は 76,799人であり、貸ギャラリー、ろうじ店舗の入場者も含めた総入館者数は727,545人であった。

映画や映像の保存・公開事業は実施する施設は全国的にも数少なく本博物館の強みと考えており、リニューアルによりフィルムシアターが施設的に充実したことから、名実ともに京都映画の殿堂と呼ぶにふさわしいものとするべく取り組んでいる。2012年度は博物館が所蔵する日本映画の上映に加えて、京都の映画関係者と連携しながら、新しい映画文化の創造に向けて多様な取組を行った。なかでも、前年度から2回目の開催となる「ヨリ道ノススメー青春映画祭」は青春をテーマに若年層、アニメファンなど幅広い入場者を集めた。こうした取組を着実に重ねるとともに、時代劇が衰退していく中で京都の映画産業の振興への協力や新しい文化である映画を多様な側面から紹介することを課題として、博物館として可能な映画文化の創造・振興に対する貢献を行っていききたい。

博物館別館である旧日本銀行京都支店の建物は、重要文化財に指定されるなど、多くの来館者を魅了してやまないところだが、2013年1月のビエンナーレの特別展示として行われた高橋匡太氏のパフォーマンスは、別館の外壁や内壁に時とともに変化する様々な光をあて、館内に置かれた多数のiPadに映像を流すなど、明治の建築である別館の新たな美しさを引き出していた。建物・設備の老朽化には十分留意が必要であるが、この素晴らしい資産である別館を活用した取組を一層進めていきたい。

* 2012(平成24)年度入館者一覧

年 月	総合展			特別展			計			ギャラリー				総計
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	計	作家	一般	別館	計	
2012.4	1,759	2,272	4,031	3,996	3,052	7,048	5,755	5,324	11,079	2,276	11,180	4,256	17,712	28,791
5	2,127	3,377	5,504	6,229	6,055	12,284	8,356	9,432	17,788	5,492	5,446	2,325	13,263	31,051
6	2,576	3,186	5,762	6,983	7,496	14,479	9,559	10,682	20,241	4,373	2,200	3,899	10,472	30,713
7	112	9,815	9,927	11,721	12,700	24,421	11,833	22,515	34,348	1,916	2,101	5,380	9,397	43,745
8	0	10,141	10,141	22,330	9,622	31,952	22,330	19,763	42,093	3,213	2,234	1,158	6,605	48,698
9	1,646	4,231	5,877	25,436	18,236	43,672	27,082	22,467	49,549	4,792	673	43,989	49,454	99,003
10	1,541	3,752	5,293	25,669	12,368	38,037	27,210	16,120	43,330	3,174	4,875	5,224	13,273	56,603
11	1,562	3,955	5,517	29,885	20,382	50,267	31,447	24,337	55,784	1,510	10,200	10,480	22,190	77,974
12	3,401	3,012	6,413	0	0	0	3,401	3,012	6,413	920	4,744	2,600	8,264	14,677
2013.1	4,898	3,658	8,556	0	16,732	16,732	4,898	20,390	25,288	0	3,695	1,200	4,895	30,183
2	1,899	3,040	4,939	7,786	5,636	13,422	9,685	8,676	18,361	1,783	2,841	2,992	7,616	25,977
3	1,854	2,985	4,839	9,127	9,277	18,404	10,981	12,262	23,243	5,956	3,640	37,414	47,010	70,253
年度計	23,375	53,424	76,799	149,162	121,556	270,718	172,537	174,980	347,517	35,405	53,829	120,917	210,151	557,668
1日平均	76	173	249	649	529	1,177	558	566	1,125	344	202	916	—	—

※総合展示は、7月3日～9月7日まで入場無料(クールスポット)とした。

Ⅱ 資料の収集・利用

当館の所管資料は、大きく二つに分かれる。一つを館資料、もう一つを管理資料と呼ぶ。館資料は、埋蔵文化財の発掘調査で出土した考古資料が中心で、他に若干の絵画資料や歴史資料など、限られた範囲のものである。一方、管理資料は、京都府立総合資料館所蔵資料のうち、当館が管理をする美術工芸、歴史民俗資料等の文化資料(博物館資料)をいう。これらの資料については、当館の設立以来、その収集、管理、展示公開業務を総合資料館から委託されており、具体的には同館の収蔵庫で管理しながら、展示を京都文化博物館で行うとともに、収集、利用等についても、その業務を当館で行っている。

なお、2012年度末での管理資料は51,793点、寄託資料が636点、一時保管資料が715点であった。

Ⅱ - 1 資料の収集

1) 受 贈

【管理資料】

分 野	作 者	資 料 名	点 数	
版 画	浅野竹二	「京洛工匠図絵関連スケッチ帖」	1	
日本画	望月玉泉	「庚申図」ほか	17	
陶磁器	清水保孝	「鉄釉掛分大皿」	1	
				小計 19点

2) 寄 託

種 別	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	分 野	件点数	小 計
館資料	日本画	5件 5点	古文書	21件 22点	典 籍	20件 233点	絵 図	17件 19点	複製模本	1件 1点	85件 792点
	貴重遺物	14件 501点	一般遺物	2件 6点	複製模型	3件 3点	参考資料	1件 1点	歴 史	1件 1点	
管理資料	日本画	5件 15点	陶 器	1件 89点	民 俗	3件 221点	武 具	1件 4点	染 織	2件 307点	12件 636点

Ⅱ-2 資料の利用

1) 貸与

【館資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	向日市文化資料館	常設展示
考古	西賀茂瓦窯出土軒瓦	2	吹田市博物館	常設展示
考古	平安京左京八条三坊二町 出土猿面硯	1	城陽市教育委員会	特別展「天地を巡る日月星宿—七夕・乞巧奠と夏の大祓—」
考古	平安京左京八条三坊二町出土風字二面硯	1	〃	〃
考古	長刀鉾町遺跡出土円面硯	1	〃	〃
模形	索米	1	〃	〃
模形	ちまき	1	〃	〃
模形	六壬式盤	1	〃	〃
その他	「二星」の短冊五枚と料紙—葉風炉先屏風	1	〃	〃
歴史	天保踊図屏風	1	国立歴史民俗博物館	特別展「行列にみる近世—武士と異国と祭礼と—」
考古	平安宮跡出土軒丸瓦	6	京都市埋蔵文化財研究所	特別事業「平安京遷都ものがたり」
考古	平安宮跡出土軒平瓦	4	京都市埋蔵文化財研究所	特別事業「平安京遷都ものがたり」
				合計 12件 22点

【管理資料】

分野	資料名	点数	申請者	使用目的(展覧会名)
陶芸	清水六兵衛「三彩四方花瓶」	1	東京国立近代美術館	特別展「越境する日本人—工芸家が夢見たアジア 1910s-1945」
染織	三浦景生「はぼたん譜」	1	シルク博物館	特別展「三浦景生—ヨコハマ染陶歷程—」
日本画	鶴澤探山「五節句図」	1	静岡市美術館	企画展「七夕の美術」
日本画	上村淳之「啼く」	1	京都市美術館	特別展「上村淳之—作家の眼」
絵画・風俗 郷土玩具・楽器	「江戸時代七夕飾図」ほか	34	城陽市歴史民俗資料館	「天地を巡る日月星宿—七夕・乞巧奠と夏の大祓」
日本画	上村淳之「啼く」	1	読売新聞大阪本社	「傘寿記念 上村松篁展」
日本画	西川祐信「源氏物語図 若菜上」	1	公益財団法人阪急文化財団 逸翁美術館	特別展「源氏物語—遊興の世界」
日本画	三輪良平「あじさいの頃」ほか	2	東近江市近江商人博物館	企画展「三輪良平回顧展」
絵画・風俗	「紅皿」ほか	21	芦屋市谷崎潤一郎記念館	特別展「『陰影礼讃』の世界—伝統美の発見・継承—」
日本画	岩澤重夫「天橋立」ほか	8	京都府立堂本印象美術館	特別企画展「41人の作家による 京のうつろい—秋から冬へ—」
日本画	上村松篁「壬生狂言」	1	茨城県近代美術館天心記念五浦分館	「生誕110年記念 上村松篁展」
日本画	谷口香嶠「出町柳農婦図」	1	古川美術館	特別展「伊藤小坡」
日本画・染織 風俗・郷土玩具	「紅綸子地桐鳳凰紋繡総文様打掛」ほか	27	城陽市歴史民俗資料館	拡大特別展「福よ来い！こい！めでた尽くし」
日本画	上村淳之「啼く」	1	読売新聞大阪本社	「傘寿記念 上村松篁展」
陶芸	三代清水六兵衛「染付四季花卉模様肉皿」ほか	18	愛知県陶磁資料館	企画展「陶芸の収集と制作！ 清水六兵衛家—京のはなやぎ—」
日本画	今尾景年「四時花木群虫図」	1	独立行政法人国際交流基金・独立行政法人国立美術館	「近代日本絵画と工芸の流れ 1868~1945」展
日本画	黒光茂樹「嵯峨野の細道」ほか	4	公益財団法人 中信美術奨励基金	「はんなり 京を紡ぐ—現代作家による京都百景展—」
陶芸	初代高橋道八「鏤絵芦文芋頭水指」ほか	3	兵庫陶芸美術館	「尾形周平」展
日本画	秋野不矩「ヴィシヌブール寺院」	1	京都府立堂本印象美術館	特別企画展「京都画壇の巨星たち—文化勲章受章者による日本画—」
染織・風俗	「紅綸子地桐文様振袖」ほか	32	松伯美術館	「松園を魅了した女性美—装いへのこだわり—」展
日本画	上村淳之「啼く」	1	読売新聞大阪本社	「傘寿記念 上村松篁展」
日本画	西村五雲「水呑虎」ほか	2	西宮市大谷記念美術館	「虎・寅・トラ—とら—甲子園の歴史と日本画におけるトラの表現」展
				合計 22件 163点

2) その他

撮影・特別観覧

館資料：撮影 1件 1点 特別観覧 5件 5点 / 管理資料：撮影 33件 44点 特別観覧 15件 77点

寄託資料一時持ち出し・貸与

寄託資料一時持ち出し・貸与					
	分野	資料名	点数	申請者	使用目的
館資料	考古	デンマーク石器コレクション	21	古代学協会	研究
	絵画	堂本印象 おばけ(花街の節分会)	1	島根県立美術館	展示
管理資料	民俗	緋精好御袴ほか	2	鞍馬火祭保存会	祭礼
	民俗	大船鉾用具 神功皇后御天冠ほか	101	四条町大船鉾保存会	展示

Ⅲ 展示活動

Ⅲ- 1 総合展示

当館の「総合展示」は、リニューアル前の「常設展示」に替わって設けられた。いつ来館しても、同じテーマや内容に添った展示品を見ることが出来るという従来のいわゆる常設展示は、展示面積を縮小し、〈京の歴史〉ゾーンに集約された。そして、〈京の歴史〉ゾーンだけでは十分に語りきれないテーマやこぼれ落ちている内容などについての企画展示が、従来の「特別陳列コーナー」を一新し、且つ展示面積の大幅な拡張の上に、実施されることとなった。

企画展示は、祇園祭など京の祭礼行事を紹介する〈京のまつり〉ゾーン、京都の歴史や文化にかかわる名品類を中心とした〈京の至宝と文化〉ゾーン、そして展示内容やボリュームによって3階展示室も柔軟に利用しながら、それぞれ1ヶ月半～3ヶ月程度の期間で次々と展示内容を変え、実施されている。

「総合展示」の展示品は、館蔵資料、管理資料、寄託資料のほか、他の博物館や美術館などが所蔵している貴重な資料(国宝や重要文化財含む)であり、展示品数や規模は小さいものの、いわゆる特別展示の構成と変わらない。リニューアル後、大きな力点がおかれることになったのが「総合展示」であり、多様且つ奥深い京都文化をできるだけ総合的に紹介できるように試みられている。

1) 〈京の歴史〉ゾーン

本エリアは、平安京の成立から近代都市として脱皮を遂げた明治・大正期までの京の歴史を概観する展示である。展示構成としては、平安時代から江戸時代における都市・京都の姿を描いた絵画資料を用い、大画面でその様子を伝える「絵巻回廊」、通史的な都市形態の変遷をCGで叙述した「京のかたち」、時代ごとの政治的・文化史的な要素を豊富なグラフィックで紹介しながら実物資料を配置する各展示ケースで構成される。

狭小な展示スペースながら、隣接する「京のまつり」「京の至宝と文化」の各ゾーンで展開する展示活動の歴史的な核となるよう運用を行っている。



〈京の歴史〉ゾーン



「絵巻回廊」

【〈京の歴史ゾーン〉展示資料一覧】

	コーナー名	No.	資料名	員数	所蔵／寄託
	イントロダクション	1	平安時代の軒丸瓦 平安京跡出土	3点	< ** >
デジタル資料	絵巻回廊	2	駒競行幸絵巻	1点	和泉市久保惣美術館
		3	一遍上人絵伝	1点	東京国立博物館
		4	洛中洛外図屏風 歴博甲本	1点	国立歴史民俗博物館
		5	洛中洛外図屏風 歴博F本	1点	国立歴史民俗博物館
		6	古写真 八坂神社から見る四条通	1点	国際日本文化研究センター
	7	古写真 新京極の風景 昭和初期	1点	京都府立総合資料館	
	8	古写真 円山公園 明治末～大正期	1点	京都府立総合資料館	
	9	古写真 平安神宮地鎮祭余興 明治29年	1点	平安神宮	
	10	古写真 四条寺町をまがる船鉾	1点	京都府立総合資料館	
	11	古写真 大丸前を巡行する長刀鉾 大正2年頃	1点	京都府立総合資料館	
	12	動画 祇園祭風景 大正期	1点	大阪芸術大学映像復元プロジェクト	
	13	動画 時代祭風景 昭和8年	1点	< ** >	
	14	古写真 三代事業起工式 明治41年	1点	京都市上下水道局	
	15	古写真 疎水舟だまり風景 明治25年	1点	京都市上下水道局	
	16	古写真 東丸太町での水道管敷設 明治43年	1点	京都市上下水道局	
	17	古写真 四条烏丸を走る市電 大正初期	1点	京都府立総合資料館	
	18	古写真 ウイーン万国博覧会 日本参加団集合写真 明治7年	1点	有田町歴史民俗資料館	
	19	古写真 柳池小学校 明治20年頃	1点	京都府立総合資料館	
	20	古写真 英学校及び女紅場	1点	京都府立総合資料館	
	21	古写真 絵画専門学校授業風景 明治42年	1点	京都市立芸術大学 芸術資料館	
	22	古写真 京都帝国大学	1点	京都府立総合資料館	
	23	古写真 同志社大学クラーク記念館	1点	同志社社史資料センター	
	24	動画 京都駅など町並み 昭和5年頃	1点	< ** >	
	25	古写真 朱雀二条商店街の盛況 昭和35年頃	1点	世界人権問題研究センター	
		京のかたち	26	京都文化博物館近辺の土層はざとり標本	1点
	平安京の造営	27	磚(敷瓦) 西賀茂瓦窯跡出土	18点	< ** >
28		鬼瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	2点	< ** >	
29		緑釉軒瓦 平安宮朝堂院・豊楽院跡出土	5点	< ** >	
	平安貴族のくらしと文化	30	池亭記(複製資料)	1巻	< ** >
31		楽琵琶	1点	< * >	
32		笙	1点	< * >	
実物資料	中世都市民の生活	33	常滑大甕 平安京左京五条三坊十五町跡出土	1点	< ** >
		34	備前大甕 平安京左京三条三坊十一町跡出土	1点	< ** >
		35	中国製四耳壺 平安京左京八条三坊二町跡出土	1点	< ** >
		36	埋納銭 平安京左京八条三坊七町跡出土	一式	< ** >
		37	铸造関連遺物(刀装具、鏡等) 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	< ** >
		38	中国製磁器 平安京左京八条三坊二町跡出土	一式	< ** >
近世町人のなりわい		39	金箔押瓦 聚楽第跡出土	4点	< ** >
		40	京童	1点	< ** >
		41	都名所図会	1点	< ** >
		42	つぼつぼ	9点	< ** >
		43	でんぼ	1組	< ** >
		44	伏見人形 布袋	1点	< * >
		45	伏見人形 饅頭喰い	1点	< * >
		46	鏡師工房関連遺物 京都市下京区坂東屋町出土	一式	< ** >
		47	南天柄鏡	1点	< * >

※所蔵欄 < * >印の資料は京都府立総合資料館蔵(当館管理)、< ** >印の資料は当館蔵

2) 〈京のまつり〉ゾーン

① 祇園祭一橋弁慶山の名宝一

会 期：2012年4月21日(土)～6月17日(日)
 前期展示：4月21日(土)～5月6日(日)
 後期展示：5月9日(水)～6月17日(日)

概 要：「弁慶と牛若丸

～源平争乱を彩る物語の意匠～」

橋弁慶山は、鎧姿で長刀を振るう弁慶に対し、牛若丸が片足で欄干に立つという躍動感あふれる情景が特徴。また、葵祭の「路頭の儀」の様子を描いた胴懸「加茂葵祭礼行列図」綴織な

ど絢爛豪華な懸装品もその魅力を引き立てている。今回の展示では、橋弁慶山に伝わる故事を題材にした意匠を構成する品々と、それを飾る数々の懸装品を公開。

出品資料数：24点

担当者：橋本 章

【「祇園祭一橋弁慶山の名宝一」展 出品資料一覧】

No.	資料名	作者等	時 代	文化財指定			
1	前懸 飛龍円文と唐牡丹文様	伝円山応挙下絵	文化6年(1809)	重要有形民俗文化財			
2	欄縁 波に千鳥文様		弘化4年(1847)	重要有形民俗文化財			
3	見送 紅地雲龍図		文政5年(1822)	重要有形民俗文化財			
4	胴懸 加茂葵祭礼行列図綴織		文化6年(1809)	重要有形民俗文化財			
5	前懸 緋羅紗地琴高仙人図 刺繍		元文5年(1740)	重要有形民俗文化財			
6	胴懸 緋羅紗地呂洞濱の図 刺繍		元文5年(1740)	重要有形民俗文化財			
7	胴懸 緋羅紗地赤松子の図 刺繍		元文5年(1740)	重要有形民俗文化財			
8	牛若丸水干 薄紅小葵文様鳥の丸窠巴金襴飾		文政9年(1826)	重要有形民俗文化財			
9	牛若丸長絹 萌葱笹龍胆窠巴文様金襴飾		昭和55年(1980)	重要有形民俗文化財			
10	牛若丸振袖 薄茶地牡丹唐草文様錦織		薬師川平兵衛作 銘、近江守久道	明治13年(1880)	重要有形民俗文化財		
11	牛若丸振袖 白茶地龍鳳凰文様錦織						
12	牛若丸太刀						
13	太刀 黒革包黒革巻大太刀拵						
14	太刀 朱塗刻鞘 合口打刃拵						
15	弁慶 長刀						
16	弁慶 鉄色威胴丸等一式						
17	中啓						
18	角飾金具 龍鳳凰文様金糸房付						
19	角飾金具 麒麟・朱鳥・青龍・玄武文様						
20	牛若丸足支鉄串	銘、右近信国				天文6年(1537)	重要有形民俗文化財
21	「入日記」						
22	「町儀定例控」						
23	「定則」						
24	「御山記録」						

② 祇園祭一山鉾巡行の歴史と文化一

会 期：2012年6月21日(木)～7月22日(日)

概 要：山鉾巡行の歴史と文化を紹介。祇園祭の開催月を迎えた京都で、祇園祭における山鉾の歴史や文化について、過去に使われていた懸装品や江戸時代の古記録などを展示しながら、

年表なども掲示して、その魅力を総合的に紹介した。

出品資料数：11点

担当者：橋本 章

【「祇園祭一山鉾巡行の歴史と文化一」展 出品資料一覧】

No.	資料名	所蔵者	時 代	文化財指定
1	放下鉾胴懸 朝鮮毛綴	公益財団法人放下鉾保存会	室町～安土桃山時代	重要有形民俗文化財
2	放下鉾稚児衣装 紅地縮緬	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	明治9年(1876)	
3	『都名所図会』	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	安永9年(1780)	
4	『祇園御霊会細記』	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	宝暦7年(1757)	
5	『雑色要録』(江馬務校訂)	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	昭和12年(1937)	
6	祇園祭図絵	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	近代	
7	菊水鉾巡行模型	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	昭和46年(1971)	
8	長刀鉾模型	京都文化博物館	昭和時代	
9	月鉾模型	京都文化博物館	明治時代	
10	京人形祇園祭鉾稚児	京都府立総合資料館 (京都文化博物館管理)	昭和34年(1959)	
11	京都祇園祭山鉾絵図(西脇友一画)	個人蔵	昭和60年(1985)	

③ 祇園祭一菊水鉾の名宝一

会 期：2012年7月26日(木)～10月14日(日)

前期展示：7月26日(木)～9月2日(日)

後期展示：9月5日(水)～10月14日(日)

概 要：「菊慈童の伝説に彩られた復活の昭和の鉾」

幕末維新の混乱期に焼失し、その後町衆の努力により八十八年の歳月を経てよみがえった菊水鉾の所蔵資料から、昭和の名工達の手によって美しく仕上げられた、菊水鉾を彩る懸装品の数々を公開すると共に、菊水鉾の意匠の元となった菊水の井と菊慈童の伝説についても紹介。

出品資料数：21点

担当者：橋本 章



「祇園祭一菊水鉾の名宝一」会場風景

【「祇園祭—菊水鉦の名宝—」展 出品資料一覧】

No.	資料名	作者等	時代	文化財指定
1	稚児衣装 ・菊花文金襴衣裳 ・赤地菊菱唐草文金襴衣裳 ・赤地菊亀甲文金襴 ・菊花文単紗法被 ・緑地花菱亀甲文金襴半切大口袴 ・赤地菊文刺繍腰帯		昭和時代	重要有形民俗文化財
2	前懸 瑞祥図	皆川月華 作	昭和29年(1954)	重要有形民俗文化財
3	前懸 昇龍図	皆川月華 作	昭和49年(1974)	
4	胴懸 左面 獅子図	皆川月華 作	昭和29年(1954)	重要有形民俗文化財
5	胴懸 右面 麒麟図	皆川月華 作	昭和29年(1954)	重要有形民俗文化財
6	後懸 昇鯉之図	皆川月華 作	昭和33年(1958)	
7	一番水引 青鸞図 二番水引 京名所図	山鹿清華 作 皆川泰蔵 作	昭和33年(1958) 昭和35年(1960)	
8	一番水引 鳳凰図 二番水引 京名所図	山鹿清華 作 皆川泰蔵 作	昭和33年(1958) 昭和35年(1960)	
9	天水引 花鳥図	三輪晃勢 筆	昭和50年(1975)	
10	前御簾 菊水図	三輪晃勢 筆	昭和53年(1978)	
11	鉦頭 金色透彫上向十六瓣菊	小林尚珉 作	昭和27年(1952)	重要有形民俗文化財
12	見送鍔金具 ・蘭花文房掛鍔金具 ・三ツ足蝶文房掛鍔金具	小林尚珉 作	昭和時代	
13	角金具 木彫漆箔蘭文角房掛	小林尚珉 作	昭和36年(1961)	
14	金幣 菊と流水	小林尚珉 作	平成3年(1991)	
15	懸魚 前面 菊花一輪持嘴尾羽玉入鳳凰	海老名峰彰 彫刻	平成11年(1999)	
16	懸魚 後面 寄添雌雄鳳凰	海老名峰彰 彫刻	平成11年(1999)	
17	菊水鉦鉦	京六条住出羽宗味 作	江戸時代後期	
18	菊水鉦之図	源鶴洲 筆	文政3年(1820)	
19	南鍔鍛四方釜・網環添	高木治郎兵衛 作	平成17年(2005)	
20	南鍔鍛四方口風炉・五徳添	高木治郎兵衛 作	平成18年(2006)	
21	南鍔皆具 ・水指 ・建水 ・蓋置 ・火箸 ・風炉先		平成20年(2008)	

④ 祇園祭—霞天神山の名宝—

会 期：2012年10月18日(木)～2013年1月6日(日)
前期展示：10月18日(木)～11月18日(日)
後期展示：11月21日(水)～1月6日(日)

出品資料数：22点

担当者：橋本 章

概 要：「京の人びとの願いをのせた火難除けの天神山」
祇園祭の山鉦の中でも、古来火伏の効験があるとされてきた霞天神山について、天神を祀る意匠を用いた飾り金具や、天神にちなんだ装飾の回廊、前懸に用いられている16世紀に製作されたトロイア戦争の物語を題材としたタペストリーなどを展示し、そのしつらえの魅力を紹介。



「祇園祭—霞天神山の名宝—」会場風景

【「祇園祭—霧天神山の名宝—」展 出品資料一覧】

No.	資料名	時代	文化財指定
1	前懸 「イーリアス」トロイアの戦争物語「出陣するヘクトールの妻子との別れ」より	室町時代	旧重要有形民俗文化財
2	前懸 中国故事人物図	寛政8年(1796)	重要有形民俗文化財
3	胴懸 牡丹に蝶文様綴織	文政3年(1820)	重要有形民俗文化財
4	胴懸 雲龍文様・中国織錦反物(3点継中)花尽文様・フランス織錦反物(3点継左右)	江戸時代後期	重要有形民俗文化財
5	後懸 唐子遊図刺繍	天明6年(1786)	重要有形民俗文化財
6	後懸 紅地雲龍宝尽蓬莱山文様綴織	文化12年(1815)	重要有形民俗文化財
7	角金具 梅枝文飾房掛金具	江戸時代後期	重要有形民俗文化財
8	角金具 松菊楓文飾房掛金具	昭和3年(1928)	重要有形民俗文化財
9	欄縁金具	昭和3年(1928)	重要有形民俗文化財
10	草花鳳凰文角掛房付金具	文政11年(1828)	重要有形民俗文化財
11	総角掛房	享和3年(1803)	重要有形民俗文化財
12	欄縁金具	安永6年(1777)	重要有形民俗文化財
13	欄縁 黒漆塗梅樹飛鶯文様金具付	昭和3年(1928)	重要有形民俗文化財
14	釣燈籠 真鍮製梅唐草文様透彫	文政10年(1827)	重要有形民俗文化財
15	釣燈籠 梅花文金銅八角燈籠	明治17年(1884)	重要有形民俗文化財
16	回廊	正徳4年(1714)	重要有形民俗文化財
17	天神額	延宝6年(1678)	重要有形民俗文化財
18	金幣(旧)	元禄12年(1699)	重要有形民俗文化財
19	金幣(新)	平成18年(2006)	
20	振鈴	寛文8年(1668)	重要有形民俗文化財
21	天神像	江戸時代後期	
22	「町則」	明治41年(1908)	

③「祇園祭—黒主山の名宝—」

会 期：2013年1月26日(土)～4月14日(日)

前期展示：1月26日(土)～2月24日(日)

後期展示：2月27日(水)～4月14日(日)

概 要：「桜の花に彩られた風雅・黒主山」

謡曲「志賀」に登場する大伴黒主の物語を題材とした黒主山から、桜の花をモチーフにした優雅な装飾や「黒」の文字を意匠化した棒鼻金具、御神体人形が身にまとう衣装、そして懸装品の数々などを展示して咲き誇る桜花と歌物語の世界を体現した黒主山の名宝を紹介。

出品資料数：17点

担当者：橋本 章



「祇園祭—黒主山の名宝—」会場風景

【「祇園祭—黒主山の名宝—」展 出品資料一覧】

No.	資料名	時代	文化財指定
1	御神体衣装 紺地菊唐草文様金襴小袖	延宝3年(1675)	重要有形民俗文化財
2	御神体衣装 鉄色地入子菱地唐草花文様縹子地金襴小袖	寛政2年(1790)	重要有形民俗文化財
3	胴懸 白羅紗地龍桜桐唐草文様捺染	寛政元年(1789)	重要有形民俗文化財
4	見送 百子嬉遊図・宝散し額・中国綴織掛物	江戸時代前期	重要有形民俗文化財
5	見送 番い鳳凰牡丹図・玉取獅子額・中国綴織掛物	江戸時代前期	重要有形民俗文化財
6	水引 波濤飛龍文様中国織錦官服直し	江戸時代中期	重要有形民俗文化財
7	欄縁 黒漆塗四季草花文様鍍金金具付	元治元年(1864)	重要有形民俗文化財
8	四神文様角飾房掛鍍金金具	江戸時代後期	重要有形民俗文化財
9	住吉・淀・雲鶴文様見送上部鍍金飾金具	元治元年(1864)	重要有形民俗文化財
10	桜花文様見送裾部鍍金飾金具	文化9年(1812)	重要有形民俗文化財
11	桜花文様角鍍金飾金具	文化9年(1812)	重要有形民俗文化財
12	釣燈籠	寛政元年(1789)	
13	金銅線刻唐草文様棒鼻金具	元治元年(1864)	重要有形民俗文化財
14	中啓 金地着色木瓜巴文様	文化14年(1817)	重要有形民俗文化財
15	中啓 金地着色松竹梅図	宝暦6年(1756)	重要有形民俗文化財
16	天橋立図屏風	江戸時代前期	
17	「黒主山」扁額 小野竹喬筆	昭和46年(1971)	

3) <京の至宝と文化>ゾーン

Ⅲ-1 総合展示 ▶ 3) <京の至宝と文化>ゾーン

① 自然へのまなざし～新収蔵の優品から～

会 期：2012年4月5日(木)～6月3日(日)

元次、曲子光男、市川廣三、細見華岳らの作品から紹介。

概 要：本展は、自然の風景や植物、生きものたちに注がれた画家や工芸家たちの眼差しを作品を通して感じてもらうというものである。作家たちは、ときにやさしくときに荒々しい自然の姿を、心の目でどのように捉え、表現しているのだろうか。とくに近年京都府に収蔵された芦田裕昭、岩澤重夫、久保嶺爾、堂本

作品数：22件

担当者：洲鎌佐智子

【「自然へのまなざし」展 出品資料一覧】

No.	分野	作品名	作者等	制作年
1	日本画	とまと	芦田裕昭	1976年
2	日本画	季春	芦田裕昭	1989年
3	日本画	瀧不動	三宅凰白	1938年
4	日本画	瀑	曲子光男	1979年
5	日本画	堰	岩澤重夫	1960年
6	日本画	赤目三題	久保嶺爾	2001年
7	日本画	赤い水路	久保嶺爾	1996年
8	日本画	展ける黄土高原	堂本元次	1988年
9	日本画	静穏なる水辺	堂本元次	2008年
10	洋画	洛北の春	都鳥英喜	1937年
11	陶芸	春の賛歌	市川廣三	1976年
12	陶芸	白磁壺 朝陽	市川廣三	1983年
13	陶芸	白磁平壺 立夏	市川廣三	1986年
14	陶芸	白磁盤 かわせみ	市川廣三	2000年頃
15	陶芸	黄磁高足鉢 沼の朝	市川廣三	1999年
16	陶芸	紫翠磁壺 五月晴	市川廣三	2002年
17	陶芸	天藍磁花瓶 陽炎	市川廣三	1997年
18	染織	綴衝立 鷺の囀	細見華岳	1975年
19	漆芸	球茎	望月重延	1986年
20	漆芸	対話	望月重延	1991年
21	漆芸	生生	望月重延	2004年
22	漆芸	海の声	望月重延	2005年

*いずれも京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)

② 表現への挑戦～新収蔵の優品から～

会 期：2012年6月5日(火)～8月5日(日)

概 要：本展示では、創作の主題や、それぞれの感性や個性と対峙しながら追究していった、現代を生きる作家たちの創造的な表現を紹介。近年京都府に収蔵された麻田脩二(染織)、齋藤眞成(洋画)、堂本元次(日本画)、平石晃祥(漆芸)らの作品、計8点を展示した。

作品数：8点

担当者：植田彩芳子



「表現への挑戦～新収蔵の優品から～」会場風景

【「表現への挑戦」展 出品資料一覧】

No.	分野	作品名	作者等	制作年
1	日本画	白亜	堂本元次	1958年
2	日本画	住	堂本元次	1973年
3	洋画	集まる	齋藤真成	1989年
4	洋画	塔	齋藤真成	1991年
5	染織	SPACE	麻田脩二	1971年
6	染織	FORM-H	麻田脩二	1979年
7	染織	WORK C-2	麻田脩二	1994年
8	漆芸	彩象	平石晃祥	1973年

III-1 総合展示 ▶ 3)〈京の至宝と文化〉ゾーン

③ 北野天神縁起絵巻 —平成記録本—

会 期：2012年6月7日(木)～8月12日(日)

概 要：学問の神として知られる北野天満宮は、平安時代前期に太宰府への左遷の果てに非業の死を遂げた菅原道真を祀った神社である。この北野天満宮の由緒を語る上で欠かすことのできない「北野天神縁起絵巻」(承久本)は、菅原道真の人生を辿った絵巻であり、高い物語性と独創的で雄大な作風を持つ絵を備えてい

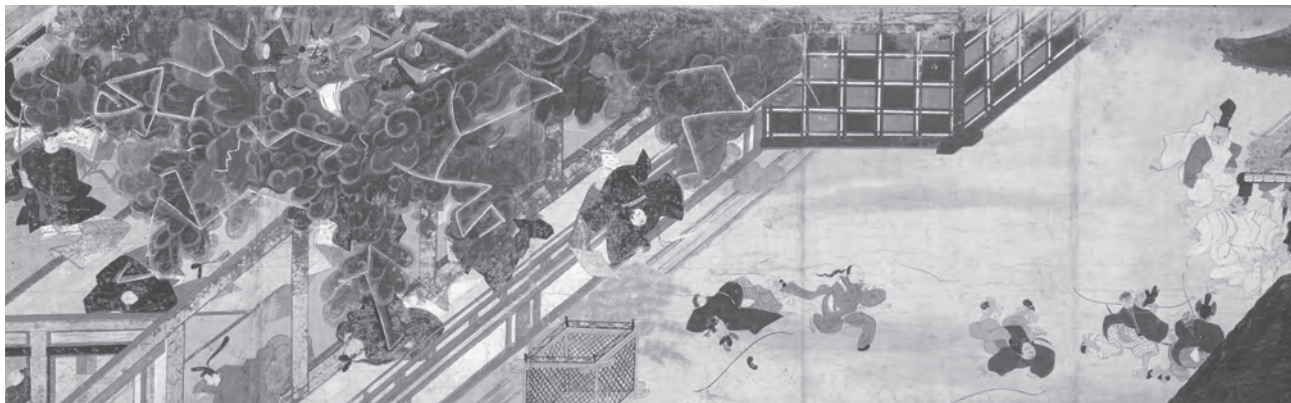
る。この北野天神縁起絵巻(承久本)が平成20年、日本ビューレットパッカー社の高精細デジタル技術により複製され、「平成記録本」と名付けられ奉納された。本展ではこの「平成記録本」全九巻の全てを同時に公開し、京都初公開を行った。

出品資料数：9点

担当者：西山 剛

【「北野天神絵巻」展 出品資料一覧】

No.	資料名	サイズ	No.	資料名	サイズ
1	巻1	縦51.8cm×横937.0cm	6	巻6	縦52.1cm×横902.6cm
2	巻2	縦52.0cm×横841.9cm	7	巻7	縦52.1cm×横897.5cm
3	巻3	縦52.1cm×横1080.0cm	8	巻8	縦51.9cm×横1211.6cm
4	巻4	縦52.0cm×横868.0cm	9	巻9	縦52.0cm×横491.2cm
5	巻5	縦52.0cm×横868.0cm			



「北野天神縁起絵巻 巻5 (部分)」

④ 近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 2

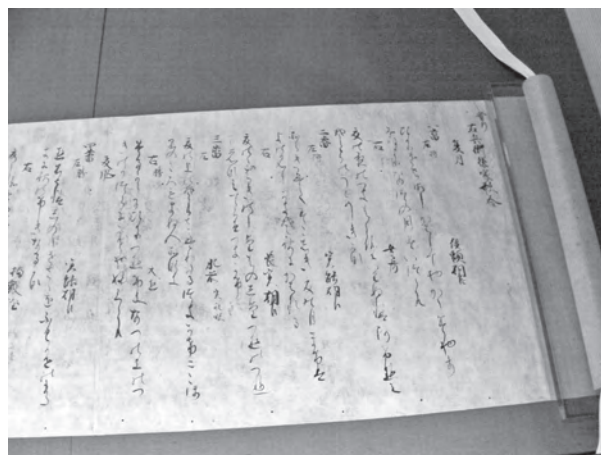
会 期：2012年8月10日(金)～10月8日(月・祝)
 前期展示：8月10日(金)～9月9日(日)
 後期展示：9月12日(水)～10月8日(月・祝)
 概 要：陽明文庫は、近衛家に伝わった平安時代以来の貴重な資料を数多く所蔵している。その収蔵資料は、平安貴族社会の栄華を極めた藤原道長の自筆日記『御堂関白記』(国宝)をはじめ、摂関家ゆかりの古記録・古文書や国文学

資料、漢籍、絵画など、王朝文化のあらゆる分野にわたる。本展では、歴代関白や天皇の和歌懐紙・詠草を中心に、『御堂関白記』・『春日権現霊験記絵巻』や絵画等を精選して紹介した。

協 力：公益財団法人 陽明文庫
 出品資料数：23件
 担当者：長村祥知、 西山 剛

【「陽明文庫の名宝2」展 出品資料一覧】

No.	指 定	資料名	時 代
1	国宝	御堂関白記 自筆本 長保二年上巻	平安時代
2	国宝	御堂関白記 自筆本 寛仁二年上巻	平安時代
3	国宝	御堂関白記 古写本 長保二年巻	平安時代後期
4	国宝	御堂関白記 古写本 寛仁二年巻	平安時代後期
5	国宝	類聚歌合(廿巻本歌合) 十一巻 小一条太政大臣家歌合	平安時代
6	国宝	類聚歌合(廿巻本歌合) 十四巻 右兵衛督家歌合	平安時代
7	国宝	類聚歌合(廿巻本歌合) 九巻 京極御息所歌合	平安時代
8	国宝	類聚歌合(廿巻本歌合) 十七巻 内蔵頭家歌合	平安時代
9		春日権現霊験記絵巻 巻第一	江戸時代 享保20年(1735)
10		春日権現霊験記絵巻 巻第五	江戸時代 享保20年(1735)
11	重要美術品	後鳥羽天皇和歌懐紙「六月」	鎌倉時代
12	重要美術品	後土御門天皇和歌詠草「求若菜・杣紅葉・初逢恋」	室町時代
13	重要美術品	後柏原天皇和歌詠草「織女惜別・野亭聞虫・行客休橋」	室町時代
14		近衛植家和歌懐紙「見花・折花」	室町時代
15	重要美術品	後陽成天皇和歌懐紙「幸逢太平代」	安土桃山時代
16		近衛前久和歌懐紙「十首和歌」	安土桃山時代
17		近衛信尹和歌懐紙「春日侍 行幸聚楽第」	安土桃山時代 天正20年(1592)
18	重要美術品	後水尾天皇和歌懐紙「池岸有松鶴」	江戸時代
19		近衛信尋和歌懐紙「奇松祝言」	江戸時代 寛永7年(1630)
20		扇面竹雀図	江戸時代
21	重要美術品	芦葉図	江戸時代 天和3年(1683)
22		短冊手鑑	南北朝～江戸時代
23		池坊専好立花図	江戸時代



「国宝 類聚歌合(廿巻本歌合)十四巻」

⑤ よみがえる羅城門 ー模型の楽しみ方1・2ー

会 期：1. 2012年8月17日(金)～9月30日(日)
 2. 2012年10月3日(水)～12月2日(日)
 概 要：平安京の表玄関である羅城門は、都のシンボ
 ル的建築物だったのみならず、倒壊後もなお、
 羅城門を舞台とする文学や芸能などで日本人
 に昔から親しまれてきた。会期1では、羅城
 門模型とともに、江戸時代から昭和時代にか

けて、地誌や小説、映像などで表現された多
 様な羅城門イメージをたどった。会期2では、
 当時の建造風景をしのばせる道具や木材、絵
 巻などを通して、大工や左官たちの製材加工
 や造作の様子を紹介した。

出品資料数：24件

担当者：村野正景、植山 茂

【「よみがえる羅城門」展 出品資料一覧】

No.	資料名	時 代	所 蔵	展示期間
1	羅城門復元模型	昭和時代 昭和63年(1988)	当館	通期
2	羅城門跡付近発掘出土資料(石仏・石塔)	室町時代～江戸時代	当館	会期1
3	京童 巻二	江戸時代 明暦4年(1658)	京都府立総合資料館所蔵(当館管理)	会期1
4	都名所車	江戸時代 正徳4年(1714)	京都府立総合資料館所蔵(当館管理)	会期1
5	京町鑑 横町	江戸時代 宝暦12年(1762)	京都府立総合資料館所蔵(当館管理)	会期1
6	都名所図会 巻二	江戸時代 安永9年(1780)	京都府立総合資料館所蔵(当館管理)	会期1
7	京の水 上	江戸時代 寛政3年(1791)	当館	会期1
8	扁額軌範 二篇付録	江戸時代 文政2年(1819)	京都府立総合資料館所蔵(当館管理)	会期1
9	大内裏図考証	江戸時代 (18世紀後半)	古代学協会	会期1
10	平安通志	明治時代 明治28年(1895)	当館	会期1
11	平安城左右京職九条坊保図	江戸時代 宝永元年(1704)	古代学協会	会期1
12	羅生門	大正時代 大正14年(1925)	当館	会期1
13	映画羅生門シナリオ	昭和時代 昭和25年(1950)	当館	会期1
14	映画羅生門ポスター	昭和時代 昭和25年(1950)	当館	会期1
15	羅城門復元模型設計図	昭和時代 昭和63年(1988)	当館	会期1
16	伴大納言絵詞 上巻 模本	明治時代 明治33年(1900)	京都市立芸術大学芸術資料館	会期2
17	拾遺都名所図会 巻一	江戸時代 天明7年(1787)	京都府立総合資料館所蔵(当館管理)	会期2
18	春日権現霊験記 巻一 模本	大正時代 大正2年(1913)	京都市立芸術大学芸術資料館	会期2
19	番匠式具	昭和時代	文友会(伸和建設)	会期2
20	手斧	昭和時代	文友会(奥谷組)	会期2
21	ヤリガンナ	現代	文友会(奥谷組)	会期2
22	加工痕付き木材	現代	文友会(奥谷組)	会期2
23	地覆石	平安時代	当館	会期2
24	平安京出土の瓦	平安時代	当館	会期2

⑥ 京都府コレクション 鎌倉・室町 古筆の世界

会 期：2012年10月12日(金)～11月25日(日)
 概 要：古筆とは昔の人の筆跡のことである。名筆は
 古来より尊重されてきたが、特に室町時代以
 降は、書籍から切断された古筆切を掛軸とし
 たり、あるいは多数の古筆切を帖に貼付けた
 手鑑としたりして、鑑賞するようになった。
 江戸時代になると、古筆の筆者を鑑定する専

門家も現れた。本展では、平成23年度に宇野
 茶道美術館(福井県)から京都府に寄贈された
 古筆資料を中心に、鎌倉・室町時代の古筆の
 優品を紹介した。

出品資料数：13件

担当者：長村祥知、西山 剛

【「京都府コレクション 鎌倉・室町 古筆の世界」展 出品資料一覧】

No.	筆 者	資料名	時 代
1	伝藤原俊成筆	古今和歌集巻第八断簡(昭和切)	鎌倉時代前期
2	伝藤原俊成筆	千載和歌集巻第十一断簡(日野切)	鎌倉時代前期
3	伝藤原俊成筆	古今和歌集巻第十八断簡(頭広切)	鎌倉時代前期
4	伝光明皇后他筆	古筆手鑑	平安時代～江戸時代
5	伝藤原俊成筆	元真集断簡(加賀切)	鎌倉時代前期
6	伝藤原定家筆	定頼集断簡(四条切)	江戸時代
7	伝藤原為家筆	古今和歌集巻第十四断簡(北野切)	鎌倉時代後期
8	伝藤原為家筆	後撰和歌集巻第八断簡	鎌倉時代後期
9	伝冷泉為相筆	古今和歌集巻第四断簡	鎌倉時代後期
10	伝飛鳥井雅有筆	後拾遺和歌集巻第六断簡(八幡切)	鎌倉時代後期
11	伝藤原雅経筆	古今和歌集巻第十五断簡(今城切)	平安時代後期
12	伝青蓮院尊道法親王筆	和漢朗詠集 上巻	室町時代
13	伝二条為世筆	古今和歌集巻第十七断簡(村雨切)	鎌倉時代後期

⑦ 細川家 永青文庫コレクション3 忠臣蔵と細川家

会 期：2012年12月1日(土)～2013年1月16日(水)

概 要：『忠臣蔵』として語られる物語の原点

細川家は、吉良邸討ち入り直後、赤穂浪士のうち大石内蔵助以下の17名の身柄を預かる命令を幕府より受け、この間の赤穂浪士に関する記録類等が伝え残されている。その資料を

公開し、後に『忠臣蔵』として人びとの共感を得てゆく物語の原点に迫ると共に、赤穂浪士を温かく迎えた藩主細川綱利の事績についてもあわせて紹介した。

出品資料数：18点

担当者：橋本 章

【「忠臣蔵と細川家」展出品資料一覧】

No.	資料名	時代	備考	No.	資料名	時代	備考
1	「御預人始終覚書」	元禄15-16年(1702-03)	熊本大学附属図書館寄託	10	磯貝門六覚書 堀内三治郎宛 写	原本・天明6(1786)	熊本大学附属図書館寄託
2	「浅野内匠頭殿家来之内御預ケ人一途之御控帳」	元禄15年(1702)	熊本大学附属図書館寄託	11	『義人録』 室鳩巢 著(写本)	江戸時代中期	熊本大学附属図書館寄託
3	浅野内匠頭書状 細川綱利宛	(年未詳) 極月27日	熊本大学附属図書館寄託	12	大石内蔵助書状 千馬三郎兵衛宛	(年未詳) 5月3日	
4	「松山侯赤穂記聞書」	安永7年(1778)	熊本大学附属図書館寄託	13	大石内蔵之助書状 細井二郎太夫宛	元禄15年(1702)	
5	「赤城義臣対話」	安永7年(1778)	熊本大学附属図書館寄託	14	細川綱利公書 「忠恕」	江戸時代中期	
6	「御預人始終覚書」上下(写本)	江戸時代後期力	熊本大学附属図書館寄託	15	細川綱利像 天柱義雪賛	正徳5年(1715)頃	
7	「松山侯留書」	安永7年(1778)	熊本大学附属図書館寄託	16	「義士切腹之図」 赤星閑意 画	明治15年(1882)	
8	「府中侯留書」	江戸時代中期	熊本大学附属図書館寄託	17	茶杓 細川綱利作	江戸時代中期	
9	義士書翰写	江戸時代中期	熊本大学附属図書館寄託	18	二重切花入 妙應院(綱利)作	江戸時代中期	

⑧ 京都府コレクション 池大雅 —胸中の山水—

会 期：2012年12月6日(水)～2013年1月27日(日)
 概 要：池大雅(1723～1776)は、江戸時代中期の京都において活躍した文人画の巨匠である。本展示では池大雅美術館、および池大雅美術館より寄贈され現在京都府が収蔵する池大雅の書画および関連資料を中心に、「高士訪隠図屏風」をはじめとする大雅のすぐれた山水画と、それに関わ

る江戸時代の版本を展示した。古来より「胸中の山水」と呼び習わされ、文人の崇高な精神を表すテーマとされた山水をもとに、大雅の精神世界と絵画の足跡をたどった。

作品数：日本画・版本 計14点

担当者：森 道彦

【「池大雅 —胸中の山水—」展 出品資料一覧】

No.	作品名	所蔵	材質・技法・形状	法量
1	山関図(大雅堂画法のうち)	池大雅美術館	紙本墨画・1幅	33.5×32.8
2	石崖図(大雅堂画法のうち)	池大雅美術館	紙本墨画・1幅	28.2×31.8
3	大雅堂画法	池大雅美術館	木版・3冊	
4	書簡(豹関先生宛)	池大雅美術館	紙本墨書	
5	芥子園画伝	龍谷大学附属大宮図書館	木版・5冊	27.2×18.2
6	金鶏落照図	京都府蔵池大雅美術館コレクション	紙本墨画淡彩・1幅	28.4×40.1
7	巫峡山水図	京都府蔵池大雅美術館コレクション	紙本墨画淡彩・1幅	27.7×110.0
8	高士訪隠図屏風	京都府蔵池大雅美術館コレクション	紙本着色・6曲1隻	99.6×301.5
9	観世音図	京都府蔵池大雅美術館コレクション	絹本墨画・1幅	103.2×33.2
10	臨水蘭花図	池大雅美術館	紙本墨画・1幅	124.5×28.1
11	蕙石図	京都府蔵池大雅美術館コレクション	紙本墨画・1幅	134.5×57.2
12	夏景山水図	京都府蔵池大雅美術館コレクション	紙本墨画・1幅	29.8×92.4
13	山水図屏風	個人蔵	紙本墨画・6曲1隻	64.2×259.6
14	山水画譜	龍谷大学附属大宮図書館	木版・1冊	27.2×18.0

⑨ 細川家 永青文庫コレクション4 輝ける古代中国の至宝

会 期：2013年1月20日(日)～2月28日(木)
 概 要：永青文庫の設立者である細川護立の蒐集品の中でも、名品の多いことで知られるのが、古代中国の美術工芸品である。護立は、学者や芸術家たちと深い交流をもちつつコレクションを形成するが、同時に彼の蒐集品は学者達の研究意欲も大いに刺激し、古代中国研究の発展に大きく寄与した。本展では、周代から

漢代までの数々の名品を中心に、輝ける中国古代の姿を紹介するとともに、芸術や文化の庇護者としての護立を紹介した。

出品資料数：23件

担当者：村野正景

【「輝ける古代中国の至宝」展 出品資料一覧】

No.	資料名	時代	文化財指定
1	戈己銘夔文銅戈	殷～西周時代 前13～前8世紀	重要美術品
2	環頭銅刀	前漢時代 前3～前1世紀	
3	共蓋大壺	戦国時代 前5～前3世紀	
4	玉豚	後漢時代 後1～後3世紀	
5	銀人立像	戦国時代 前5～前3世紀	重要文化財
6	金銀錯狩獵文鏡	戦国時代 前4～前3世紀	国宝
7	金銀象嵌鳥獸文管金具	前漢時代 前2～前1世紀	重要美術品
8	金銀玻璃象嵌大壺	戦国時代 前5～前3世紀	重要文化財
9	金彩鳥獸雲文銅盤	前漢～新時代 前3～後1世紀	国宝
10	銀製刻文杯	戦国時代 前5～前3世紀	重要文化財
11	銀製刻文有柄杯	戦国時代 前5～前3世紀	重要文化財
12	銀製鍍金耳杯	戦国時代 前5～前3世紀	重要文化財
13	金象嵌越王銅矛	戦国時代 前5～前4世紀	重要美術品
14	殻粒文玉帶鉤	戦国～漢時代 前5～後3世紀	
15	多彩瑠璃珠	東周～漢時代 前6～後3世紀	
16	透獸文鞘付銅劍	春秋時代 前6～前5世紀	重要美術品
17	銅製柄香炉	前漢時代 前3～前1世紀	
18	銅製四神図耳杯形灯	後漢時代 後1～後3世紀	
19	銅製車書	東周時代 前6～前3世紀	
20	銅製馬車	漢時代 前2～後3世紀	重要美術品
21	龍文人脚銅匱	西周～春秋時代 前9～前7世紀	
22	咸陽宮図	元時代 後14世紀	
23	狩獵文鏡時繪箱	(日本)昭和10年代	

⑩ 京都府コレクション 雛人形名品展

会 期：2013年2月1日(金)～3月31日(日)

舗大木丸平のおぼこ雛、大正時代の押絵雛などを紹介した。

概 要：京都府は質の高い雛人形のコレクションを所
有しており、例年、展示を通して紹介してき
た。本年度は、吉川観方コレクションの有職
雛や古今雛と、台所道具、京都の雛人形の老

作品数：雛人形など9点
担当者：林 智子

【「雛人形名品展」出品資料一覧】

No.	資料名	時代	備考
1	有職雛	安政年間(1854～59)	◇
2	有職雛	江戸時代後期	◇
3	有職雛	江戸時代末期	◇
4	古今雛	江戸時代末期	◇
5	古今雛	文久2年(1862)	◇
6	雛道具(台所)	大正～昭和時代か	◇
7	雛道具(おくどさん)	大正～昭和時代か	◇
8	おぼこ雛	大正時代初期	
9	押絵雛	大正10年(1921)頃	

※いずれも、京都府立総合資料館蔵(当館管理)。◇は吉川観方コレクション。

4) 3階展示室

自主企画

III - 1 総合展示 ▶ 4) 3階展示室

① 重要文化財指定記念 八瀬童子 —天皇と里人—

会 期：2012年12月15日(土)～2013年1月14日(月・祝)

主 催：京都府、京都文化博物館、京都市歴史資料館、日本経済新聞社

協 力：社団法人八瀬童子会

協 賛：ニューリー株式会社

後 援：京都市教育委員会

概 要：八瀬童子とは、現京都市左京区八瀬地域に平安時代から居住する人々をいう。古くから輿を担ぐ組織として山門や天皇・公卿・将軍といった時の権力者と関係を結び、明治以降は政府から大喪・大礼の駕輿丁を任ぜられた。八瀬童子の特色ある歩みを語る資料一括(741点)が平成22年に重要文化財に指定されたことを受け、本展では、古文書・絵図・装束・仏像・写真といった多岐にわたる諸資料で京都洛北地域に生きる八瀬童子と八瀬地域の特質を展観した。併せて江戸時代から始められた租税免除奉祝たる「赦免地踊」(京都市無形民俗文化財)を会期中に披露し、八瀬童子の文化の継承に光をあてた。

出品数：70点

担当者：西山 剛、植山 茂

入場者数：9,951人(1日平均473人)

【関連行事】

〔1〕講演会

「八瀬童子一村のいとなみ、都のいとなみ」

日時：12月16日(日) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：西山 剛(当館学芸員)

参加者数：143名



「八瀬童子」展 ちらし

〔2〕八瀬童子フォーラム 参加者数：121名

a. 基調講演「八瀬童子の秘密」

日時：1月6日(日) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：宇野 日出生(京都市歴史資料館)

b. 実演「八瀬赦免地踊り」

日時：1月6日(日)午後1時30分～2時30分

場所：別館ホール

実演：社団法人 八瀬童子会

Ⅲ - 2 特別展示

Ⅲ - 2 特別展示 ▶ 1) 共催展等

① 宗廣コレクション 芹沢銈介展

会 期：2012年4月7日(土)～6月3日(日)

[50日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1,000円／大高生700円／中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、京都新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 力：岐阜県美術館

担当者：林 智子

入場者数：22,505人(1日平均 450人)

【概 要】

芹沢銈介(1895～1984 1956年重要無形文化財保持者「型絵染」)は、沖縄の紅型を基に芸術性の高い型絵染を考案し、染色の世界に大きな可能性を開いた作家であるが、京都では、芹沢銈介作品単独での展覧会は本展が初めてである。本展覧会では、紬織制作者である宗廣陽助氏が30余年にわたって収集した芹沢作品と世界各地の民藝品の紹介を行った。

展示作品には芹沢の代表作や肉筆による作品が数多く含まれ、芹沢作品の魅力を多面的に伝えることができた。アンケート等からも、来館者の満足度が非常に高かったことがうかがえた。

講演会では、宗廣氏が芹沢作品を収集するに至った経緯と長年にわたる収集の思い出が語られ、展覧会の作品解説でもほとんど語られない宗廣氏の目線からの芹沢作品の魅力を来場者に伝えることができた。



「宗廣コレクション 芹沢銈介展」ちらし

【主な出品作品】

染分いろは文字文着物(1954年)／御滝図文のれん(1962年)／ぼんどり図屏風(1957年)ほか

【出品作品数】約170点

【関連行事】

〔1〕記念講演会「コレクターが見た芹沢作品の魅力」

日時：4月21日(土) 午後1時30分～3時

場所：本館3階フィルムシアター

講師：宗廣陽助(紬織制作者・所蔵者)

参加者数：140名

〔2〕ワークショップ(紅型コースター制作)

日時：5月4日(金・祝)

第1回 午前10時から正午

第2回 午後1時から3時

参加人数：25名

〔3〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

4月13日(金)・27日(金)、5月4日(金・祝)・

18日(金)

担当：林



「宗廣コレクション 芹沢銈介展」会場風景

② NHK 大河ドラマ 50 年特別展 平清盛

会 期：2012年6月16日(土)～7月17日(火)

[28日間]

休館日：毎週月曜日(ただし7月16日は開館、7月17日は臨時開館)

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1,200円／大高生800円／中小生400円

主 催：京都府、京都府京都文化博物館、NHK京都放送局、NHKプラネット近畿、京都新聞社

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会、KBS京都、エフエム京都

企画協力：アートシステム

協 賛：日本写真印刷、ハウス食品、みずほ銀行、三井住友海上

担当者：植山 茂、西山 剛

入場者数：32,352人(1日平均1,116人)

【概 要】

今からおよそ900年前、貴族政治が衰退して混迷を深めた平安末期に、平清盛は瀬戸内の制海権を手に入れ、武家の棟梁となり、太政大臣にまでのぼりつめた。

海に浮かぶ華麗な厳島神社を造営し、一族の繁栄を願って「平家納経」を奉納し、また日宋貿易を行い東アジアの世界とつながる新しい国のあり方を模索した。この展覧会では、平清盛や平氏一門にまつわる数々の作品から、平清盛の実像に迫った。世界遺産・厳島神社に伝えられる多数の至宝をはじめ、この時代を生きた人々の肖像画や書、主要な源平合戦を描いた絵画のほか、平安末期の文化を象徴する美術・工芸品などを一堂に展示した。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 平氏隆盛の足跡

重要文化財「知足院関白記(殿暦)」鎌倉時代前期
陽明文庫蔵／重要文化財「兵範記」平安時代
京都大学附属図書館蔵／多賀町指定「仏舍利相承系図」鎌倉時代 滋賀・胡宮神社蔵

第2章 清盛を巡る人々

国宝「西行筆 一品経和歌懐紙」鎌倉時代 京都国立博物館蔵／国宝「後白河院序下文案」平安時代後期 京都府立総合資料館蔵／重要文化財「鉄雲龍紋銅象嵌金銀鍍鍬形」平安時代後期 木下美術館蔵

第3章 平氏の守り神—巖島神社—

国宝「平家納経 法華経 序品第一」平安時代後期
広島・巖島神社蔵／国宝「平家納経 法華経 法師
品第十」平安時代後期 広島・巖島神社蔵／国宝「平
家納経 法華経 随喜功德品第十八」平安時代後期
広島・巖島神社蔵

第4章 平氏の時代と新たな文化

重要文化財「孔雀明王像」平安-鎌倉時代 京都・安
楽寿院蔵／重要文化財「金光明経卷第三(目無経)」
鎌倉時代 京都国立博物館蔵／重要文化財 阿弥
陀如来坐像 平安時代 京都・醍醐寺蔵

第5章 平家物語の世界

京都市指定「平家琵琶 銘 相応」江戸時代以前 個
人蔵／「一の谷・屋島合戦図屏風」江戸時代 神
戸市立博物館／「大原御幸図屏風」江戸時代 文化庁

【出品作品数】154点

【関連行事】

〔1〕演奏会 「平家琵琶—鎮魂の語り—」

日時：6月17日(日) 午後1時30分～2時30分
場所：別館ホール
演者：荒尾努(平家琵琶奏者)
参加者数：149名

〔2〕講演会 「清盛のめざしたもの」

日時：6月23日(土) 午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：高橋昌明(神戸大学名誉教授)
参加者数：153名

〔3〕歴史散策 「清盛ゆかりの地をめぐる」

日時：7月7日(土) 午後1時30分～3時30分
場所：京都市内(とくに六波羅地域)3～4カ所
講師：野口実(京都女子大学教授)
参加者数：25名

〔4〕講演会 「清盛と平安京」

日時：7月8日(日) 午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：植山茂(京都文化博物館 学芸課主査)
参加者数：127名



「平清盛」展 ちらし



「平清盛」展 会場風景

〔5〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)
6月22日(金)、29日(金)、7月6日(金)、13日(金)
担当：植山、西山、長村

③ 世界遺産 ヴェネツィア展 ～魅惑の芸術 - 千年の都～

会 期：2012年7月28日(土)～9月23日(日)

[50日間]

休館日：月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1,300円／大高生900円／中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、MBS、毎日新聞社、東映、TBS

後 援：外務省、文化庁、イタリア大使館、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、イタリア文化会館、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都市観光協会、歴史街道推進協議会

協 賛：大日本印刷、損保ジャパン

協 力：ヴェネツィア市立美術館群財団、アリタリア-イタリア航空、日本貨物航空、アルテリア、日本通運

担当者：洲鎌佐智子

入場者数：78,999人(1日平均 1,580人)

【概 要】

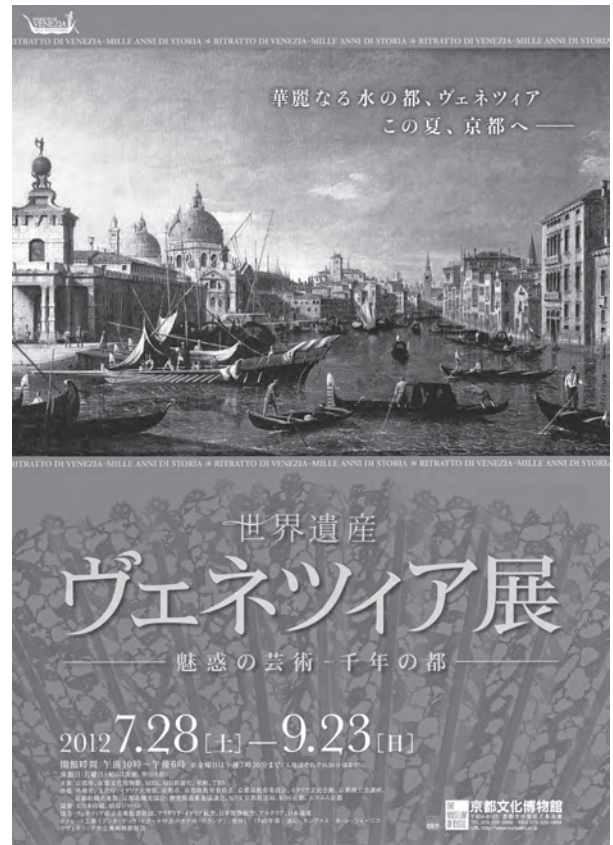
本展は、アドリア海の女王とも賞され、地中海交易の拠点として栄耀栄華を誇ったヴェネツィアの歴史と芸術の魅力をさまざまな角度から紹介する展覧会。豊かな色彩と雅やかな詩情を重視するヴェネツィア派の絵画をはじめ、華麗な貴族の暮らしやヴェネツィア共和国の海上交易の様子を伝える品々を展示。

【展覧会の構成】

第1章／都市構造から国家機関、そして海運王国として、経済的にも宗教・文化的にも発展していったヴェネツィアの黄金期を紹介。

第2章／黄金期を迎えたヴェネツィア人貴族の生活様式や部屋を飾った華麗な工芸品の数々を紹介。

第3章／ヴェネツィアの貴族たちが邸宅内に設けたギャラリーに蒐集したベッリーニ、ティントレットなどのヴェネツィア派絵画の作品を紹介。



「ヴェネツィア展 ～魅惑の芸術 - 千年の都～」ちらし



「ヴェネツィア展」会場風景

【出品数】約140件(150点)

【関連行事】

〔1〕講演会 「ヴェネツィア—都市と芸術」

日時：7月28日(土) 午後2時～3時30分

場所：本館3Fフィルムシアター

講師：京谷啓徳(九州大学大学院准教授)

参加者数：112名

〔2〕講演会 「ヴェネツィア—水上の迷宮都市」

日時：9月9日(日) 午後2時～3時30分

場所：本館3Fフィルムシアター

講師：陣内秀信(法政大学教授)

参加者数：136名



「ヴェネツィア展」講演会

〔3〕記念コンサート

日時：8月12日(日) 午後1時30分～2時30分

場所：別館ホール

演奏：CINQUE PENNELLI(チンクエ ペンネッリ)

曲目：ヴィヴァルディ「春」ほか

参加者数：400名

〔4〕ヴェネツィアの仮面(マスクラ)づくり

日時：8月18日(土)

1回目 午前10時30分～正午

2回目 午後2時30分～4時

場所：別館2階講義室

材料費：1500円

参加者数：1回目 42名 2回目 37名



「ヴェネツィア展」記念コンサート

〔5〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

8月3日(金)、17日(金)、31日(金)

担当：洲鎌

④ シャガール展 2012 — 愛の物語 —

会 期：2012年10月3日(水)～11月25日(日)

[48日間]

休館日：月曜日(ただし10月22日は臨時開館)

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1300円／大高生900円／中小生500円

主 催：京都府、京都文化博物館、毎日新聞社、MBS

特別協力：トレチャコフ美術館、ロシア美術館、公益

財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館

協 力：日本航空、Lufthansa Cargo AG

後 援：外務省、文化庁、在日ロシア連邦大使館、ロ

シア連邦文化協力庁、在日フランス大使館、

京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員

会、京都商工会議所、京都府観光連盟、京都

市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京

都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：株式会社大林組

担当者：植田彩芳子、森 道彦

入場者数：88,304人(1日平均 1,840人)

【概 要】

1887年、旧ロシア東部のヴィテプスクに生まれたユダヤ系の画家マルク・シャガール。妻を一途に愛し、愛や結婚をテーマにした作品を多く残したことから、「愛の画家」として知られている。サンクトペテルブルグで美術を学んだ彼は、1910年憧れのパリに赴き、キュビズムをはじめとする新しい傾向に触れる。その後、故郷に帰り、1915年ベラと結婚。再びパリへ戻るが、第2次世界大戦中に渡米し、そこで最愛の妻ベラを亡くす。失意のシャガールは、戦後フランスに戻り、1985年南フランスで亡くなった。

本展では、ロシアの国立トレチャコフ美術館、サンクトペテルブルグのロシア美術館の全面的な協力を得て、色彩の詩人と呼ばれるシャガールが運命的な出会いをし、生涯にわたって愛し続けたベラとの愛の物語をテーマにした作品群を紹介した。とりわけ、モスクワのユダヤ劇場の壁面制作を任されたシャガールが取り組んだ一連の作品群や、シャガールの代表作である《街の上で》(国立トレチャコフ美術館)・《散歩》(ロシア



「シャガール展」ちらし



「シャガール展」会場風景

美術館)などは必見の作品で、好評であった。

【展覧会の構成と主な出品作品】

第1章 故郷ロシア

《窓からの眺め、ヴィテブスク》1914-15年、トレチャコフ美術館／《赤いユダヤ人》1915年、ロシア美術館／《ユダヤ劇場への誘い》1920年、トレチャコフ美術館／《音楽》1920年、トレチャコフ美術館

第2章 結婚—幸福な日々

《街の上で》1914-1918年、トレチャコフ美術館／《散歩》1917-18年、ロシア美術館

第3章 悲しみの日々そして追憶・幻想へ

《恋人たちとマーガレットの花》1949-50年、ポーラ美術館／《妻と一緒に自画像》1973年、トレチャコフ美術館

第4章 版画シリーズ「ダフニスとクロエ」ほか

《ダフニスとクロエ》(43点の連作)1887-1985年、トレチャコフ美術館

【出品数】100点

【関連行事】

〔1〕記念講演会

「ああ、誰がシャガールを理解したでしょうか？」

日時：10月6日(土) 午前10時30分～正午

場所：本館3階フィルムシアター

講師：罔府寺司(大阪大学大学院教授)

参加者数：85名

〔2〕記念イベント

「紙芝居 シャガール～愛と自由の翼ひろげ～」

日時：10月7日(日) 午前11時～11時40分

場所：本館3階フィルムシアター

文・語り：森山道子(元小・中学校教諭)

絵：笹岡法子(イラストレーター)

参加者数：120名

〔3〕記念コンサート

「シャガールが愛した、故郷の旋律—東欧ユダヤ・クレズマー音楽演奏会—」

日時：10月14日(日) 午前10時30分～正午

場所：別館ホール

奏者：クレズマー楽団「オルケステル・ドレイデル」[樋上千寿(クラリネット・レクチャー解説)、大橋祐子(ピアノ)、高橋延吉(ドラムス)]

参加者数：184名

〔4〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

10月12日(金)、19日(金)、26日(金)、11月2日(金)

担当：植田



「シャガール展」記念コンサート

⑤ 【こころの京都百選】完成記念特別展 日本画 こころの京都

会 期：2013年2月9日(土)～3月24日(日)

[38日間]

休館日：毎週月曜日(祝日は開館、翌日休館)

会 場：4階特別展示室・3階総合展示室

入場料：一般1,000円／大高生700円／中小生400円

主 催：京都府、京都文化博物館、産経新聞社、京都新聞社

協 賛：株式会社京都銀行 京都中央信用金庫

後 援：京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都商工会議所、(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、歴史街道推進協議会、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

助成等：文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

担当者：植田彩芳子、森 道彦

入場者数：31,826人(1日平均 838人)

【概 要】

今も昔も魅力的な響きを持つ、「京都」。その言葉には、風情ある町並み、由緒ある寺社や名所旧跡、豊かな海や美しい山河の風景、そして長い歴史、文化や風俗・芸術・産業といった、実に多様なイメージが込められている。そのため、古くから多くの人々が、京都を想うところを様々なかたちで表現してきた。

そのような京都への想いと芸術の営みを現代へと受け継ぎ、さらに後世に伝えていくために、京都府では平成23年度から2カ年にわたり、現代京都の日本画壇を代表する作家に依頼し、京都の風景を描いた100点の新作日本画シリーズ「こころの京都百選」を制作した。本年度はその完成の年にあたる。そこで、京都府京都文化博物館では、この「こころの京都百選」が完成したことを記念し、特別展「日本画 こころの京都」を開催した。

本展覧会は江戸時代の画家が描いた京都の姿にはじまり、明治・大正・昭和・平成と続くそれぞれの時代の日本画家たちが思い描いた「京都」のイメージを紹介。京都を訪れた画家たちの京都への想いも交え、過去から現代へと連なる美しい京都の姿を展示した。



「日本画 こころの京都」展 ちらし



「日本画 こころの京都」展 会場風景

【展覧会の構成と主な出品作品】

プロローグ 描かれた京都イメージ

江戸後期、明治、大正、昭和、平成の物故作家による日本画作品約 60点。幸野楳嶺、竹内栖鳳、上村松園、堂本印象、秋野不矩 ほか

こころの京都百選

現代京都の日本画壇の粋を集めた日本画作品 100点。池田道夫、岩倉寿、上村淳之、烏頭尾精、中路融人 ほか

【出品数】168点

【関連行事】

〔1〕記念講演会

a. 「京都の日本画」

日時：2月10日(日) 午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：上村淳之(日本画家・日本芸術院会員)
参加者数：121名

b. 「東京から見た京都の日本画」

日時：2月11日(月・祝) 午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：草薙奈津子(平塚市美術館長)
参加者数：61名

〔2〕座談会

「日本画のこれから～画材をめぐる～」

日時：2月24日(日) 午前10時30分～正午
場所：本館3階フィルムシアター
講師：荒木かおり(川面美術研究所長・文化財修復・復元)、西野陽一(日本画家)、箱崎睦昌(京都嵯峨芸術大学教授・日本画家)
参加者数：87名

〔3〕出品作家によるギャラリートーク

場所：各日とも展示室内

第1回 2月15日(金) 午後6時～7時

講師：池内璋美、鶴飼雅樹、奥村美佳、長谷川雅也、渡辺章雄
参加者数：43名

第2回 2月16日(土) 午後2時～3時

講師：大森正哉、中町力、林潤一、藤井智美、水野収
参加者数：76名

第3回 2月23日(土) 午後2時～3時

講師：新井富美郎、石原拓雄、井上正与志、谷井俊英、松崎良太、渡辺信喜
参加者数：45名

第4回 3月1日(金) 午後6時～7時

講師：石原貴暉、大豊世紀、大野俊明、清水信行、中尾英武、箱崎睦昌
参加者数：44名

第5回 3月2日(土) 午後2時～3時

講師：浅野均、石股昭、上田勝也、烏頭尾精、雲丹亀利彦、福本達雄
参加者数：70名

第6回 3月8日(金) 午後6時～7時

講師：鶴飼雅樹、大豊世紀、大沼憲昭、清水信行、西田真人、畠中光享
参加者数：37名

第7回 3月9日(土) 午後2時～3時

講師：石股昭、高越甚、中尾壽男、由里本出、渡辺章雄
参加者数：55名

第8回 3月16日(土) 午後2時～3時

講師：池内璋美、片山侑胤、國府克、吉村年代、高田淑子、土手朋英
参加者数：60名

第9回 3月22日(金) 午後6時～7時

講師：石原貴暉、川嶋涉、小池一範、林潤一、國府克
参加者数：28名

第10回 3月23日(土) 午後2時～3時

講師：國府克、中村文子、林潤一、曲子明良、村岡幸信、渡辺章雄
参加者数：50名

〔4〕担当学芸員による展示解説

展示室内にて、各日午後6時～(約30分間)

2月22日(金)、3月15日(金)

担当：植田

⑥ もがいた奴が、光る。京都府美術工芸新鋭展 2013 京都美術ビエンナーレ

会 期：2013年1月4日(金)～1月20日(日)

[15日間]

休館日：毎週月曜日(ただし、14日は開館、15日休館)

会 場：4階展示室

入場料：無料

主 催：京都府、京都文化博物館

後 援：京都新聞社、朝日新聞京都総局、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、日本経済新聞社京都支社、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都、京都商工会議所、京都日本画家協会、京都彫刻家協会

担当者：林 智子

入場者数：16,732人(1日平均1,115人)

【概 要】

本展は、若手芸術家の活躍の機会を提供するとともに、卓抜した創造性・技術を備えた作品を紹介することにより、新進作家の輝く才能の発掘と育成を図り、京都における文化芸術の振興を目指し、美術と工芸の公募展を隔年ごとに開催するビエンナーレとして、2008年の第1回工芸ビエンナーレより行われてきたもの。本年は、全国公募の中から入選した作品を紹介する公募部門と、京都を中心とする10の大学等から推薦された作家の作品を紹介する選抜部門から構成した。若手作家の登竜門としての役割をより強化するため、公募部門の応募資格および選抜部門の作家選出にあたっての条件を、開催当日(2013年1月4日)時点で満40歳以下であることとした。なお本年は、会期中の1月10日～20日に、京都府主催展覧会での最優秀賞受賞を機に世界的な活躍をしている芸術家、高橋匡太氏の特別展示を別館で行った。別館特別出品の関連イベントとしては、会期中の午後5時から7時30分まで別館外壁にライトアップが行われたほか、アーティストトーク、ライブパフォーマンスが行われた。

【出品数】

《公募部門》平面25点 立体8点 計33点

《選抜部門》平面17点 立体11点 計28点

【関連行事】

〔1〕出品作家によるギャラリートーク

展示室内にて、各日午後1時30分～3時頃

1月5日(土)・12日(土)

〔2〕別館ライトアップ

(高橋匡太氏の特別展示の関連行事)

会期中連日午後5時～7時30分

〔3〕アーティストトーク

(高橋匡太氏の特別展示の関連行事)

日時：1月13日(日) 午後2時～3時30分

場所：別館ホール

〔4〕ライブパフォーマンス

(高橋匡太氏の特別展示の関連行事)

日時：1月12日(土) 午後6時30分～7時30分

1月19日(土) 午後6時30分～7時30分

1月20日(日) 午後2時～3時

場所：別館ホール

*2012(平成24)年度特別展一覧

展覧会名	会期	日数	入場者数	一日平均	形態
宗廣コレクション 芹沢銈介展	2012. 4.7～6.3	50	22,505	450	共催
NHK大河ドラマ50年 特別展 平清盛	2012. 6.16～7.17	28	32,352	1,116	共催
世界遺産ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都	2012. 7.28～9.23	50	78,999	1,580	共催
シャガール展2012 一愛の物語	2012. 10.3～11.25	48	88,304	1,840	共催
京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ	2013. 1.4～1.20	15	16,732	1,115	委託
【こころの京都百選】完成記念 特別展 日本画 こころの京都	2013. 2.9～3.24	38	31,826	838	共催
計6件		229	270,718	1,177	

Ⅲ - 3 展示協力

1) 海外展への協力

Samurai: Tesoros de Japón (侍：日本の至宝展)

会期：2012年7月26日(木)～10月21日(日)

[75日間]

休館日：月曜日(9月4日と5日は展示替のため休館)

会場：Museo Nacional de Antropología (MNA)

(メキシコ国立人類学博物館)

入場料：57メキシコペソ(=約400円)

※毎週日曜日は無料(ただし外国人は除く。)

主催：Instituto Nacional de Antropología e Historia

(INAH)(メキシコ国立人類学歴史学研究所)

協力：京都文化博物館、名古屋市博物館

担当者：村野正景

入場者数：178,296人(1日平均2,377人)

【概要】

メキシコ国立人類学歴史学研究所の主催する「Samurai: tesoros de Japón(日本語訳)侍：日本の至宝展」への協力をおこなった。本展は、2010年に京都文化博物館が主催した「古代メキシコ・オルメカ文明展」の返礼展として、当館と名古屋市博物館の協力のもと

に実施された。本展の展示品は、名古屋市博物館の企画から展示にいたる全面協力のもと、その所蔵品から、侍がまとった武具一甲冑や刀剣一、伝説的な侍を描いた合戦図等を選び、侍の世界にせまるとともに、江戸時代における城下町名古屋の繁栄を紹介するものであった。日本国・メキシコ国交流400年、名古屋市・メキシコ市友好35周年を記念して開催されたこの「侍展」が、メキシコ国民に侍文化、ひいては日本文化を紹介し、両国の相互理解を深める機会となることが目標とされた。

本展は、多くのメキシコの人々に観覧していただき、且つ現地の報道(新聞、HP、Twitterなど)での反響も大きかった。また、在メキシコ日本国大使館や日墨協会といったメキシコにある日本の諸機関・組織が、本展覧会の機会にイベントをおこなうなど、日本文化の紹介および日墨交流を大いに進めていた。このように本展覧会は、単なる博物館の事業にとどまらず、官民公さまざまな組織の活動の契機となり、博物館外への波及効果がみられたことは、大きな成果と思われる。こ

れを機会に、日本への一層の関心をメキシコ国民が抱くことを期待したい。

【展覧会の構成】

- 第1章 侍登場
- 第2章 いざ、出陣！ 乱世の到来
- 第3章 洗練された美 刀剣
- 第4章 権力の象徴 名古屋城
- 第5章 城下の繁栄 名古屋

【主な出品作品】

- ・「長篠合戦図屏風」 江戸時代
- ・「萌黄糸威胴丸具足」 江戸時代
- ・「太刀 銘 行平作」 鎌倉時代[重要文化財]
- ・「東照宮祭礼図巻」 江戸時代

【出品数】185件(重要文化財3件を含む。)



「侍：日本の至宝展」広報（MNA の入口すぐ）



「侍：日本の至宝展」会場内の様子

2) 京都府民ギャラリー事業への協力

京都府では、府民が身近に「文化・芸術の町」を体感できる空間を創出するために、府民ギャラリー事業を実施している。本事業は、京都府が所蔵する美術工芸品のうち、「京の四季」や「京の絵本原画」等からテーマ

を定めて構成した作品群を、府内の文化施設で展示するもので、当館は、(1)展示会場となる文化施設の事前調査、(2)展示作品の選定、(3)会場での展示指導などに協力している。

【京都府民ギャラリー展示作品一覧】

主催者	期間	開催場所	展示内容	点数
京都府	2012.3.22～6.29	京都府文化環境部文化芸術振興課	「京の四季」作品 佐々木豊「乙訓の竹林」ほか	6
京都府	2012.6.26～9.28	京都府文化環境部文化芸術振興課	「京の四季」作品 松本文子「Hello by the river」ほか	6
京都府	2012.9.25～12.28	京都府文化環境部文化芸術振興課	「京の四季」作品 早田嘉之「神護寺山門」ほか	7
京都府	2012.12.6～2013.3.29	京都府文化環境部文化芸術振興課	「京の四季」作品 大熊峻「四条河原町」ほか	7
				合計26点

Ⅲ- 4 映 画

1) 常設上映

上映期間	テ ー マ	作 品 名	日数	回数	鑑賞者
～2012.4.1	没後30年 俳優志村喬の世界(前年度から引き続き)	ゴジラ	1	2	114
2012.4.3～14	戦前名作ドキュメンタリー映画特集	支那事変後方記録 上海／戦ふ兵隊／機関車C-57／或日の干潟／信濃風土記より 小林一茶／疎水 流れに沿って／ある保姆の記録	10	20	612
2012.4.12、15	芹沢銈介展記念記録映画上映会	紫 色に魅了された男の夢	2	4	310
2012.4.17～30	【第10回新京極映画祭協賛企画】 花に嵐、惜別の映画	御詠治郎吉格子／たそがれ酒場／ビルマの竖琴／関の弥太っぺ／赤い天使／男はつらいよ／悪名市場	13	25	1,517
2012.5.2～6.3	映画女優淡島千景追悼上映	麦秋／命美わし／本日休診／君の名は 第一部／君の名は 第二部／君の名は 第三部／お茶漬の味／にごりえ／夫婦善哉／早春／日本橋／黄色いからす／螢火／駅前旅館／暗夜行路	28	56	4,552
2012.5.6	「生きる」の振替上映 (前年度3月の映写事故による)	生きる	1	2	151
2012.6.5～7.1	新藤兼人 脚本家としての仕事	わが生涯のかゞやける日／わが恋は燃えぬ／源氏物語／偽れる盛装／夜明け前／女ひとり大地を行く／足摺岬／夜の鼓／裸の島／斬る／傷だらけの山河／千羽鶴	24	48	3,952
2012.7.3～22	新藤兼人 映画監督としての仕事	愛妻物語／原爆の子／縮図／悲しみは女だけに／第五福竜丸／ある映画監督の生涯 溝口健二の記録	14	28	2,089
2012.7.4、5、7、8	「特別展平清盛」記念『新平家物語』 映画上映	新平家物語	4	8	743
2012.7.15～17	祇園祭記念映画上映	祇園祭	3	6	856
2012.7.24～ 8.1、8.7～19	モノノケのささやき 一怪異と恐怖の映画特集	渡川伴五郎／有馬猫／雨月物語／番長皿屋敷 お菊と播磨／蜘蛛巣城／東海道四谷怪談／初春狸御殿／恋や恋なすな恋／おとし穴／怪談家が淵	20	39	3,492
2012.8.3～5	第18回京都国際子ども映画祭	サンタクローズになった少年／チャンスをつかめ／奇跡／ジュリアン／ウラ声ボーイズ／レオニッドの物語／663114／ベルリン・リサイクラーズ／コリーダ／野うさぎの道	3	9	889
2012.8.21～9.9	追悼・山田五十鈴特集上映	国士無双／瞼の母／折鶴お千／浪華悲歌／祇園の姉妹／鶴八鶴次郎／大江戸五人男／流れる／用心棒	16	30	3,368
2012.8.25、26	第7回映画の復元と保存に関するワー クショップ作品上映	8ミリの記憶／幕末太陽伝／能勢克男作品「土曜日」の一周年／疎水―流れに沿って	2	4	511
2012.9.7	【映画24区KYOTO】谷口正晃監督スクリー ニング・セッション	人情紙風船／洋子の引越し	1	1	39
2012.9.11～30	役者冥利 一映画のはまり役、当たり役・時代劇編	鞍馬天狗 角兵衛獅子の巻／丹下左膳余話 百万両の壺／一心大助 天下の一大事／ひばり捕物帖 かんざし小判／新吾十番勝負／濡れ髪三度笠／眠狂四郎 殺法帖／緋牡丹博徒 お電参上	16	32	1,868
2012.9.14、16	京都文化博物館総合展示 「よみがえる羅城門」記念映画上映	羅生門	2	4	321
2012.10.2～28	【第八回京都映画祭協賛】 時代映画の巨匠伊藤大輔監督特集	御詠治郎吉格子／鞍馬天狗／素浪人罷通る／王将／われ幻の魚を見たり／治郎吉格子／王将一代／下郎の首／明治一代女／弁天小僧／反逆児	23	45	2,220
2012.10.6、7	【第八回京都映画祭協賛】 幻の『一殺多生剣』発見！	長恨／斬人斬馬剣／一殺多生剣／浄魂／怪傑夜叉王／忠次旅日記	2	4	684
2012.10. 8	【京都SFフェスティバル協賛企画】 即興伴奏で試みる映画『狂った一頁』	狂った一頁	1	1	66
2012.10.30～11.30	愛に翻弄される人々	西鶴一代女／春琴物語／浮雲／ころも／夜の河／挽歌／風花／湊東綺譚／雁の寺／越後つついし親不知／湖の琴／濡れた二人／忍ぶ川／曾根崎心中	28	56	4,031
2012.12.1～7	京都ヒストリカ国際映画祭	大奥～永遠～／マリー・アントワネットに別れをつけて／雪之丞変化／大武生／隠し砦の三悪人／神弓／七人の侍／アイアンクラッド／柳生一族の陰謀／1612／羅生門／ウーモン・パー・ムアン―羅生門	6	13	801
2012.12.8～ 2013.2.3	日活映画100年記念上映 日活映画の世界	弥次喜多 善光寺詣り／尾上松之助葬儀／忠臣蔵 天の巻・地の巻／二人静／水戸黄門漫遊記 槍供養／汗／天国その日帰り／河内山宗俊 路傍の石／闇の影法師／血煙高田の馬場／鴛鴦歌合戦／宮本武蔵(総集編)／土次郎物語／江戸最後の日／将軍と参謀と兵／警察日記／幕末太陽伝／太陽の季節／ギターを持った渡り鳥／にあんちゃん／キューポラのある街／肉体の門／帝銀事件 死刑囚	44	88	4,642

2013.2.5～3.10	ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ2	わが青春に悔なし／青い山脈／赤線地帯／太陽を盗んだ男／セーラー服と機関銃／ドラえもん のび太の恐竜／クレヨンしんちゃん／ヒボクラテスたち／家族ゲーム／さびしんぼう／少年ケニヤ／天使のたまご／早春物語／私をスキーに連れてって／トットチャンネル／木村家の人びと／機動戦士ガンダム 逆襲のシャア／銀河英雄伝説 わが征くは星の大海／ぼくらの七日間戦争／(ハル)／がんばっていきまっしょい／ワンダフルライフ／パーフェクトブルー／少女革命ウテナ アドゥレセンス黙示録／ニンゲン合格／ウォーターボーイズ／帰郷／花とアリス／機動警察パトレイバー 2 the Movie／けいおん！	30	60	4,824
2013.3.12～31	人生に笑顔を！喜劇映画の魅力	落第はしたけれど／諧謔くナンセンス>三浪士／マダムと女房／生れてはみたけれど／彦六大いに笑ふ／或る夜の殿様／お父さんはお人好し／につぼんのお婆あちゃん／競輪上人行状記	18	36	1,928

2) 特別企画・共催事業

III-4 映画 ▶ 2) 特別企画・共催事業

① 2012 年度共催上映等の実績

◆ 芹沢銈介展記念映画上映会

〔共催〕エーティーエムケー

〔期間〕4月12日(木)、15日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕芹沢銈介展の開催を記念して、京都の染司よしおかの吉岡幸雄氏の技を記録した『紫色に魅了された男の夢』の上映と吉岡幸雄氏のゲストトーク。

〔鑑賞者数〕310人(155人／1日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『サンタクローズになった少年』『チャンスをつかめ』『奇跡』等10作品の上映。『663114』の平林勇監督によるゲストトーク。

〔鑑賞者数〕889人(296人／1日)

◆【第10回新京極映画祭協賛企画】花に嵐、惜別の映画

〔共催〕新京極映画祭

〔期間〕4月17日(火)～30日(月・祝)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕「花に嵐」をテーマに開催される第10回新京極映画祭に協賛し『御誂治郎吉格子』『男はつらいよ』等7作品を上映。『悪名市場』(新京極映画祭持込)上映時には芦屋小雁氏によるゲストトークも開催した。

〔鑑賞者数〕1,517人(117人／1日)

◆【映画24区KYOTO】谷口正晃監督スクリーニング・セッション

〔共催〕シマフィルム

〔期間〕9月7日(金)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕京都寺町三条に生まれ育った谷口正晃監督を招き、当館所蔵の『人情紙風船』(1937)と、自作『洋子の引越し』(1989)を上映し、それぞれの作品の解説レクチャーを行う。

〔鑑賞者数〕39人(39人／1回)

◆ 第18回京都国際子ども映画祭

〔共催〕キnderフィルムフェストきょうと

〔期間〕8月3日(金)～5日(日)

◆【第8回京都映画祭】幻の『一殺多生剣』発見！

〔共催〕第八回京都映画祭実行委員会

〔協力〕東京国立近代美術館フィルムセンター

〔期間〕10月6日(土)、10月7日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕伊藤大輔監督『一殺多生剣』の発掘・復元上映と『忠次旅日記』、『斬人斬馬剣』、『幕末剣史 長恨』のデジタル復元版を活弁、ピアノ伴奏、尺八伴奏付きで上映。発掘・復元に関わった牧由尚氏、松尾好洋氏、太田米男氏の座談会と、佐伯知紀氏、太田米男氏、森脇清隆による復元シンポジウムを開催。

〔鑑賞者数〕684人(342人／1日)

◆【京都SFフェスティバル協賛企画】即興伴奏で試みる

『狂った一頁』

〔共催〕京都SFフェスティバル

〔期間〕10月8日(月・祝)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕若き円谷英二も参加した戦前前衛映画の傑作として知られる『狂った一頁』を手作り電子楽器とエレキギター伴奏付きで上映。

〔鑑賞者数〕66人(66人／1回)

◆第4回京都ヒストリカ国際映画祭

〔主催〕京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会〔共催〕

KYOTO CMEX 2012

〔特別協力〕大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館

〔協力〕アンスティチュ・フランセ関西

〔期間〕12月1日(土)～7日(金)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕新しい時代劇を模索するべく、『大奥～永遠～』『マリー・アントワネットに別れをつげて』『ウモン・パー・ムアン―羅生門』『七人の侍』等、多様な年代・地域・ジャンルの歴史映画12作品を上映。ブノワ・ジャコー監督、パンテワノップ・テーワクン監督、星野泰視氏のゲストトークを開催。

〔鑑賞者数〕801人(134人／1日)

◆TVアニメ『たまこまーけっと』大型パネル展示

〔主催〕京都アニメーション、ポニーキャニオン

〔期間〕1月5日(土)～3月10日(日)

〔会場〕本館1階エレベーターホール(無料ゾーン)

〔内容〕京都アニメーション製作のオリジナルTVアニメ『たまこまーけっと』の主人公のおもち屋の店構えを大型パネルで再現、主人公たまこの等身大パネルとともに展示。

◆ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ2

〔助成等〕文化庁ミュージアム活性化支援事業

〔協力〕京都アニメーション、ポニーキャニオン、TBS

〔期間〕2月5日(火)～3月10日(日)

〔会場〕本館3階フィルムシアター

〔内容〕若年層に日本映画に親しんで貰うことを目的に、『わが青春に悔なし』『太陽を盗んだ男』『映画 けいおん!』等、所蔵する古典名作映画から近作、アニメ作品まで30作品の青春映画を上映。

〔鑑賞者数〕4,824人(161人／1日)

② 映画製作者・研究者・専門家向け普及事業

◆日本映像学会関西支部第34回夏期映画ゼミナール2012

映画が描く共同体 一連帯と束縛—

〔共催〕京都府、日本映像学会関西支部

〔期間〕8月3日(金)～5日(日)

〔会場〕京都府立ゼミナールハウス

〔内容〕「映画が描く共同体 一連帯と束縛—」『小島の春』『長屋紳士録』『蜂の巣の子供たち』等9作品の上映とシンポジウム。

〔参加者数〕61名

◆第7回映画フィルム復元ワークショップ作品上映

〔共催〕大阪芸術大学、プラネット映画資料図書館、NPO映画保存協会、IMAGICA ウェスト

〔協力〕東京国立近代美術館フィルムセンター

〔期間〕8月25日(土)～26日(日)

〔会場〕本館3Fフィルムシアター

〔内容〕映画フィルムの復元についての講座と実習を行う。あわせて近年復元された『8ミリの記憶』『土曜日の一周年』等4作品を上映。

〔参加者数〕511名(256人／1日)

◆京都映画若手才能育成ラボ(KyotoFilmmakersLab)、京都アクターズラボ

〔主催〕京都映画若手才能育成ラボ実行委員会<京都府、映像産業振興機構、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所>

〔特別協力〕株式会社ディレクターズ・ユニブ

〔期間〕12月7日(金)～12日(水)

〔会場〕東映京都撮影所、松竹撮影所、当館3Fフィルムシアター

〔内容〕世界各国から若手映画作家を招き、東映京都撮影所、松竹撮影所のオープンセットを使い、短編時代劇作品を製作する英語のワークショップ。web公募の結果、58カ国149名の応募があった。審査の結果外国人12名、日本人8名の若手作家20名が審査を通過。出身国は日本、フィリピン、タイ、チェコ、ブルキナファソ(フランス)、リトアニア、ポーランド、スリランカ、スペイン、アメリカ、イギリス、中国となった。アクターズラボは日本人が対象で、61名の応募があり、うち10名が審査通過した。撮影所見学、殺陣講座の他、京都ヒストリカ国際映画祭、太秦戦国祭等にも参加。

③ 子ども向け普及事業

◆動画編集って何だろう？映像製作ワークショップ

〔協力〕立命館大学映像学部

〔期間〕9月9日(日)

〔会場〕別館2階講義室

〔内容〕小学生ガールスカウトを対象にしたiPod touchを使った写真撮影と映画撮影・編集のワークショップ。

〔参加者数〕12名

◆手作りアニメ・おもしろ映像製作ワークショップ

〔助成等〕文化庁ミュージアム活性化推進事業

〔共催〕NPOキンダーフィルムフェストきょうと

〔協力〕大手前大学メディア芸術学部

〔期間〕2013年3月2日(土)、3日(日)

〔会場〕別館2階講義室

〔内容〕スマートフォンで撮影した写真を紙に焼くデジタル日光写真、スマートフォンで楽しむゾートロープ、マンガ風写真の撮り方、電動ヘリコプターでの空撮、簡単に本格的な映画編集。また、粘土や切り紙を使った手作りアニメーションを製作するワークショップ。

〔参加者数〕1日コース28名(+見学・保護者6名)、2日間コース14名(+見学・保護者2名)

③ 大学生向け普及事業

◆インターンシップの受け入れ

平成24年度 前期 立命館大学(映像学部2名)

3) 映像ギャラリー資料展示

京都府所蔵の映画関連資料より、映像ホールでの企画上映にあわせて、ポスター・スチル・チラシ等50点前後の資料を随時展示替えしながら公開している。

2012年度は下記のテーマで展示した。

【映像ギャラリー展示資料一覧】

期 間	テ ー マ
2012.4.3～30	【第10回新京極映画祭協賛企画】花に嵐、惜別の映画
2012.5.2～6.3	映画女優淡島千景追悼上映
2012.6.5～7.1	新藤兼人 脚本家としての仕事
2012.7.3～22	新藤兼人 映画監督としての仕事 特別展平清盛」記念『新平家物語』映画上映 祇園祭記念映画上映
2012.7.24～8.20	モノノケのささやき 一怪異と恐怖の映画特集
2012.8.21～9.9	追悼・山田五十鈴特集上映
2012.9.11～30	役者冥利—映画のはまり役、当たり役・時代劇編
2012.10.2～28	時代映画の巨匠伊藤大輔監督特集 幻の『一殺多生剣』発見！
2012.10.30～11.30	愛に翻弄される人々
2012.12.1～7	京都ヒストリカ国際映画祭
2012.12.1～27	日活映画100年記念上映 日活映画の世界1
2013.1.4～2.3	日活映画100年記念上映 日活映画の世界2
2013.2.5～3.10	ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ2
2013.3.12～31	人生に笑顔を！喜劇映画の魅力

4) 京都府映像文化センター運営委員

氏 名	所 属 等	氏 名	所 属 等
中島 貞夫	映画監督	守田 晴美	京都興行協会常任理事
中村 努	シナリオライター	奥谷 三穂	京都府文化芸術振興課長
奈村 協	東映京都撮影所長	荒巻 禎一	内部委員
羽生 清	京都造形芸術大学教授	神山 俊昭	内部委員
森田富士郎	映画撮影監督	青木 完一	内部委員

Ⅲ- 5 その他

【総合展示における小中高生の入場料無料化】

2008年度の開館20周年を機に、次世代を担う子供たちに京都の歴史や文化・芸術に身近に親しんでいただくことを目的として、小中高生の総合展示入場料の無料化を行っている。平成24年度は7,899人の子供が入場した。

【夜間開館の実施】

来館者の利便性をより高めることを目的として、2008年6月から特別展の開館時間の延長を開始した。毎週金曜日に限り、閉室時間を午後6時から午後7時30分とした。また、各特別展会期中の数回、金曜日の夜間開館にあわせて午後6時から30分程度でギャラリートークを開催している。平成24年度の参加者は2,833人であった。

【クールスポット(総合展示室無料開放)の実施】

東日本大震災の影響により、夏の電力需給の逼迫が見込まれたため、京都府では府立の4つの文化施設(当館、堂本印象美術館、山城郷土資料館、丹後郷土資料館)を無料開放する取り組みを行った。当館では、7月3日から9月7日まで、2階総合展示室および3階フィルムシアターの総合展示を無料開放し、22,085名が利用した。

IV 調査研究活動

IV- 1 学芸員の活動

1) 研究

【博物館研究費による研究】

- 畑 智子 ・明治期博覧会と京都（1）
西山 剛 ・中近世移行期における祇園会神輿渡御と
駕輿丁の変容
植田彩芳子 ・近代における京都と絵画に関する研究
～今尾景年を中心に～
村野正景 ・羅城門近辺をめぐる歴史像の再整理
—当館所蔵考古資料の有効活用のために1—
橋本 章 ・京の年中行事に関する研究
森 道彦 ・中世武人肖像画の研究
長村祥知 ・承久鎌倉方武士の研究
大矢敦子 ・『昭和天皇御大礼』（前後編）9.5mmフィ
ルムの歴史性について

【外部研究費・共同研究等による研究】

- 畑 智子 ・研究プロジェクト「アジア・デザイン・エ
ンサイクロペディアの構築」(高等国際研究
所 2010-2012)
・「国立アイルランド博物館所蔵明治期七宝
の調査」(美術工藝振興佐藤基金 2012)
森 道彦 ・文部科学省科学研究費「板谷家を中心とし
た江戸幕府御用絵師に関する総合的研究」
(2011年度～2016年度 基盤研究(A) / 研
究課題番号：23242013)(代表者 田沢裕賀・
独立行政法人国立文化財機構東京国立博物
館)研究協力者

2) 出講・委嘱

- 畑 智子 ・第12回福知山市佐藤太清賞公募美術展
審査員
・京都府美術工芸新鋭展—2013京都美術ビ
エンナーレ 審査員
植山 茂 ・立命館大学文学部非常勤講師
森脇清隆 ・文化庁芸術選奨推薦委員
・文化庁メディア芸術デジタルアーカイブ事
業企画選定委員
・独立行政法人日本芸術文化振興会芸術文化
振興基金運営委員会専門委員
・京都ヒストリカ国際映画祭実行委員
・京都国際学生映画祭企画検討委員
・祇園天幕映画祭審査員
洲鎌佐智子 ・姫路市美術展審査員
林 智子 ・文化学園大学文化ファッション研究機構
研究員
・福岡県美術展覧会審査員
西山 剛 ・世界人権問題研究センター 嘱託研究員
橋本 章 ・日本民俗学会 第29期評議員
・京都民俗学会 理事

3) 業績

① 論文・著作

- 畑 智子・「博覧会の時代—八重の生きた近代の京都」(2013年NHK大河ドラマ特別展「八重の桜」図録所収、2013年3月)
・「研究ノート 明治四年京都博覧会について」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収、2013年3月)
- 植山 茂・「拓本集『六勝寺古瓦』」(『東アジア瓦研究』第2号所収、東アジア瓦研究会、2012年10月)
- 林 智子・作品解説分担(特別展『宗廣コレクション 芹沢銈介展』図録所収、京都文化博物館他編、同館他発行、2011年7月)
・「作り手への目線」(特別展「宗廣コレクション 芹沢銈介展」図録所収、同上)
・「型染を見る楽しみ」(京都国立近代美術館ニュース「見る」第461号、2012年7月)
・「呉服商・百貨店の染織品コレクションについて—千總・丸紅・松坂屋コレクション」(歴史系総合誌「歴博」第174号 国立歴史民俗博物館編、同館発行、2012年9月)
- 西山 剛・「近世期における祇園会神輿駕輿丁の変化」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収、2013年3月)
・「輿を昇く八瀬童子」(図録『重要文化財指定記念 八瀬童子—天皇と里人—』、京都文化博物館、2012年)
・「NHK大河ドラマ特別展 八重の桜」図版解説(NHK・NHKプロモーション 2013年)
- 植田彩芳子・「望月玉泉「平安百景図」考—京都百景の試みの一例として—」(『日本画 ころの京都』展図録リーフレット、2013年2月)
・「近現代京都の日本画史—鑑賞の手がかりとして—」(『日本画 ころの京都』展図録、2013年2月)
・「研究ノート 中村大三郎の西洋美術学習」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収、2013年3月)
- ・「資料紹介 幸野椋嶺筆妓女図」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収、2013年3月)
- 村野正景・「メキシコ展覧会記—オルメカ展そしてサムライ展によせて—」(古代アメリカ学会『古代アメリカ学会会報』第33号所収、2013年1月)
・「1960年代の平安京羅城門跡発掘調査—遺構編—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収、2013年3月)
- 橋本 章・「京のまつりと行事②—京のお火焚きについて—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25号所収、2013年3月)
・『長浜曳山祭の芸能—長浜曳山子ども歌舞伎および長浜曳山囃子民俗調査報告書』(財団法人長浜曳山文化協会 2012年3月20日) 共著
・『新・民俗学を学ぶ—現代を知るために—』(昭和堂 2013年3月25日) 共著
- 森 道彦・「立原杏所筆 文人作画図」(『國華』第1406号所収、2012年12月)
・「応挙たちが見た京都—円山派と18世紀の京都像—」(『日本画 ころの京都』展図録リーフレット、2013年2月)
・「うごく京人形—娯楽と芸術のはざままで—」(『文化財レポート』第26号所収、2013年3月)
・「室町期における尊氏甲冑像の受容と肖像画制作 —「大内義興像」(京都府立総合資料館所蔵 京都文化博物館管理)の紹介を兼ねて—」(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収 2013年3月)
- 長村祥知・「書評 谷昇著『後鳥羽院政の展開と儀礼』」(『古文書研究』73号所収、日本古文書学会、2012年6月)
・「〈承久の乱〉像の変容—『承久記』の変容と討幕像の展開—」(『文化史学』68号所収、文化史学会、2012年11月)

- ・「新刊紹介 山本隆志編著『那須与一伝承の誕生』(『史林』95巻6号所収、史学研究会、2012年11月)
- ・『重要文化財指定記念 八瀬童子—天皇と里人—』展覧会図録 分担執筆(京都文化博物館、2012年12月)
- ・「中世風の位記—「菊亭家文書」寛永五年正

- 月藤原宣季叙正二位位記—(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収、2013年3月)
- 大矢敦子・「『輝く昭和聖代 御大禮の盛儀』の概要—内容・撮影団体・公開について—(京都文化博物館研究紀要『朱雀』第25集所収、2013年3月)

② 発表・講演

- 植山 茂・「清盛と平安京」(特別展「平清盛」講演会、京都文化博物館、2012年7月8日)
- 森脇清隆・第8回京都映画祭「映画復元と今後の展望」(講師、京都文化博物館、2012年10月7日)
- ・第7回映画フィルム復元ワークショップ「映画アーカイヴの仕事について」(講師、京都文化博物館、2012年8月27日)
- ・京都SFフェスティバル2013「京都における戦前のSF映画について」(講師、いろは旅館、2012年10月12日)
- ・京都府支援学校校長会「スマートフォンによる動画の編集について」(講演、ルビノ堀川、2012年7月13日)
- 林 智子・「江戸時代のきものを見る楽しみ」(徳島城博物館美術史アカデミー「服飾をよむ、時代をみる」、2013年1月26日)
- 西山 剛・「八瀬童子—村のいとなみ 都のいとなみ—」(2012年12月16日、京都文化博物館 展示講演会)
- ・「北野祭と諸職人」(2013年2月20日、世界人権問題研究センター)
- 村野正景・「遺跡のある町の住民が考古学〈者〉に対して問うこと」(京都メソアメリカ考古学研究会第9回例会、2012年5月27日)
- ・「パブリック考古学の実践と課題 —エルサルバドル共和国における経験をもとに—」(古代アメリカ学会第1回西日本部会研究懇談会〔於：神戸市外国語大学〕、2012年6月16日)
- ・「インカの謎がやってくる！ インカ帝国展の楽しみ方」(京都メソアメリカ考古学研究会第19回例会、2013年3月31日)
- 橋本 章・「節分から桃の節句へ—京の年中行事と民俗—」(2013年2月15日 京都アスニー講座)
- 森 道彦・「狩野元信工房における実景・風俗表現に関する諸問題」(口頭発表、平成24年度冬期風俗画研究会例会〔於：立命館大学アート・リサーチセンター〕、2012年12月16日)
- 長村祥知・「中世前期の在京馬政機関」(中世史研究会例会〔於：名古屋大学文学部127講義室〕、2012年6月30日)
- 大矢敦子・「"Onoe Matsunosuke and Materials Related to the Film, "Chusingura (The Royal Forty Seven Ronin)" in the Makino Mamoru Collection」、("An Introduction to the Makino Mamoru Collection at Columbia University's C.V. Starr East Asian Library"—コロンビア大学C.V.スター東亜図書館牧野守コレクションにおける映画資料の活用と保存—牧野守コレクションアーキビストBeth Katzoff氏を迎えて〔立命館大学衣笠キャンパス〕、2012年6月25日)、共催：立命館大学国際言語文化研究所 トラベル・ライティング研究会／立命館大学日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点

V-1 出版物

1) 研究紀要『朱雀』

【『朱雀』第25集】

発行：京都文化博物館

発行日：2013年3月31日

印刷：株式会社 吉川印刷工業所

体裁：B5判、140ページ

編集担当：畑 智子、大川原絵里子

掲載記事：

[論攷]

・森 道彦

室町期における尊氏甲冑像の受容と肖像画制作
—「大内義興像」(京都府立総合資料館所蔵 京都文化博物館管理)の紹介を兼ねて—

・西山 剛

近世期における祇園会神輿駕輿丁の変化
—洛中洛外図屏風諸本を手がかりに—

・長村 祥知

中世風の位記 —「菊亭家文書」寛永五年正月藤原
宣季叙正二位位記—

[研究ノート]

・橋本 章

「京のまつりと行事②—京のお火焚きについて—」

・畑 智子

明治四年京都博覧会について

・植田 彩芳子

中村大三郎の西洋美術学習

・大矢 敦子

『輝く昭和聖代 御大禮の盛儀』の概要
—内容・撮影団体・公開について—

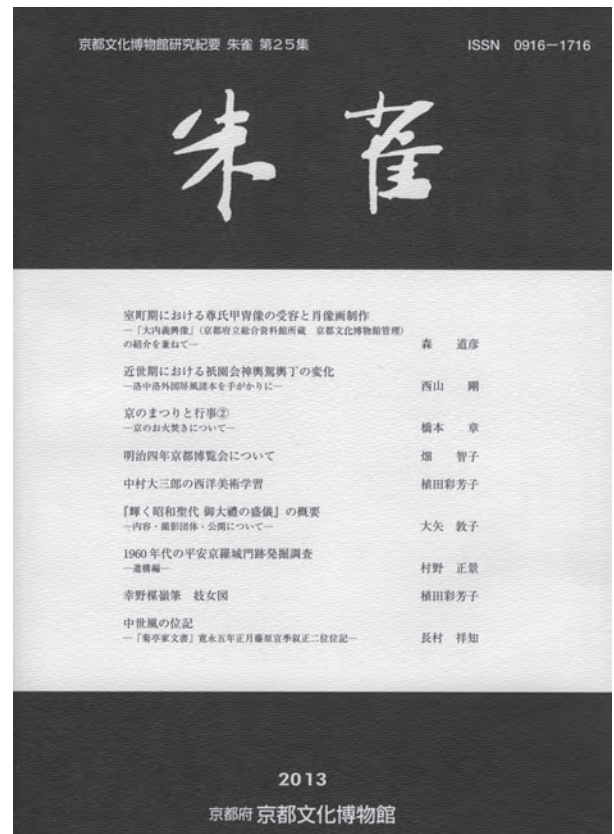
[資料紹介]

・村野 正景

1960年代の平安京羅城門跡発掘調査
—遺構編—

・植田 彩芳子

幸野樗嶺筆 妓女図



京都文化博物館研究紀要『朱雀 第25集』

2) 年報

【京都文化博物館2011(平成23)年度年報】

編集・発行：京都文化博物館
発行日：2012年10月31日
印刷：(株)吉川印刷工業所

体裁：A4判、64ページ
編集担当：橋本 章、逸見恵美子

3) 展覧会図録

【『重要文化財指定記念 八瀬童子―天皇と里人―』】

体裁：タテ27.7cm×ヨコ21.5cm、100ページ
編集：京都文化博物館、京都市歴史資料館、ニューリー
株式会社
発行：京都文化博物館
発行日：2012年12月15日
印刷：株式会社大伸社

【『京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ』】

体裁：タテ29.7cm×ヨコ21cm、24ページ
編集：京都府、京都文化博物館
発行：京都府、京都文化博物館
発行日：2013年1月4日
印刷：日本写真印刷株式会社

【『日本画 こころの京都』】

体裁：タテ28cm×ヨコ22.6cm、126ページ
編集：京都府、京都文化博物館
発行：京都府
発行日：2013年2月9日
印刷：株式会社大伸社

(別冊)

体裁：タテ28cm×ヨコ22.5cm、32ページ
編集：京都文化博物館
発行：京都府、京都文化博物館
発行日：2013年2月9日
印刷：株式会社大伸社

V-2 講演会・音楽会

1) 講演会など

開催年月日	講師	所属等	演題・テーマ	備考
2012. 4.13	林 智子	当館学芸員		「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説
4.21	宗廣 陽助	紬織制作者、所蔵者	コレクターが見た芹沢作品の魅力	「宗廣コレクション 芹沢銈介展」記念講演会
4.27	林 智子	当館学芸員		「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説
5. 4	林 智子	当館学芸員		「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説
5.18	林 智子	当館学芸員		「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説
6.17	荒尾 努	平家琵琶奏者	平家琵琶—鎮魂の語り—	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」演奏会
6.22	植山 茂	当館学芸員		「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説
6.23	高橋 昌明	神戸大学名誉教授	清盛のめざしたもの	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」講演会
6.29	植山 茂	当館学芸員		「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説
7. 6	西山 剛	当館学芸員		「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説
7. 7	野口 実	京都女子大学教授	清盛ゆかりの地をめぐる	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」歴史散策
7. 8	植山 茂	当館学芸員	清盛と平安京	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」講演会
7.13	長村 祥知	当館学芸員		「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説
7.28	京谷 啓徳	九州大学大学院准教授	ヴェネツィア—都市と芸術	「世界遺産 ヴェネツィア展」講演会
8. 3	洲鎌 佐智子	当館学芸員		「世界遺産 ヴェネツィア展」展示解説
8.12	CINQUE PENNELLI			「世界遺産 ヴェネツィア展」記念コンサート
8.17	洲鎌 佐智子	当館学芸員		「世界遺産 ヴェネツィア展」展示解説
8.31	洲鎌 佐智子	当館学芸員		「世界遺産 ヴェネツィア展」展示解説
9. 9	陣内 秀信	法政大学教授	ヴェネツィア—水上の迷宮都市	「世界遺産 ヴェネツィア展」講演会
10. 6	囃府寺 司	大阪大学大学院教授	ああ、誰がシャガールを理解したでしょうか?	「シャガール展2012—愛の物語—」講演会
10. 7	森山 道子／ 笹岡 法子	元小・中学校教諭／ イラストレーター	紙芝居 シャガール ～愛と自由の翼ひろげ～	「シャガール展2012—愛の物語—」 記念イベント
10.12	植田 彩芳子	当館学芸員		「シャガール展2012—愛の物語—」展示解説
10.14	クレズマー楽団 「オルケステル・ドレイデル」		シャガールが愛した、故郷の旋律 —東欧ユダヤ・クレズマー音楽演奏会—	「シャガール展2012—愛の物語—」 記念コンサート
10.19	植田 彩芳子	当館学芸員		「シャガール展2012—愛の物語—」展示解説
10.26	植田 彩芳子	当館学芸員		「シャガール展2012—愛の物語—」展示解説
11. 2	植田 彩芳子	当館学芸員		「シャガール展2012—愛の物語—」展示解説
12.16	西山 剛	当館学芸員	八瀬童子 —村のいとなみ、都のいとなみ—	「八瀬童子—天皇と里人—」講演会
2013. 1. 6	宇野 日出生	京都市歴史資料館	基調講演「八瀬童子の秘密」	「八瀬童子—天皇と里人—」フォーラム
1. 6	社団法人 八瀬童子会		実演「八瀬赦免地踊り」	「八瀬童子—天皇と里人—」フォーラム
2.10	上村 淳之	日本画家	京都の日本画	「日本画 こころの京都」講演会
2.11	草薙 奈津子	平塚市美術館長	東京から見た京都の日本画	「日本画 こころの京都」講演会
2.22	植田 彩芳子	当館学芸員		「日本画 こころの京都」展示解説
2.24	荒木 かおり／ 西野 陽一／ 箱崎 睦昌	川面美術研究所長・文化財修復・復元／日本画家／京都嵯峨芸術大学教授・日本画家	日本画のこれから～画材をめぐる～	「日本画 こころの京都」座談会
3.15	植田 彩芳子	当館学芸員		「日本画 こころの京都」展示解説

2) 音楽会

祇園祭協賛事業 祇園祭ミュージアムコンサート

【祇園祭ミュージアムコンサート—音楽の玉手箱—】

日時：7月14日(土)・15日(日)

主催：京都文化博物館・京の三条まちづくり協議会

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ

店舗博和会

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：

7月14日 くろじん↑ <ポップス>

Yasu & Suso <ジャズ・ギターデュオ>

SHANACHIE <北歐・ケルトの伝承音楽>

常味裕司 <アラブ音楽>

LASSIE <オールドタイムミュージック>

ふら〜っとオールスターズ <ジャズ>

J.Pickers <アメリカン・フォークソング>

Purities

<アメリカンフォークソング、ポピュラー>

カケラバンク <ポップス>

ニューシャープハードオーケストラ

<ジャズ、ポップス>

7月15日 Cats & Doll <ジャズ>

モアニアラ フラ スタジオ+α

<ハワイアン・フラ>

タンゴ・アルコイリスwith Yuiko<タンゴ>

ニューサウンズ・コンボ <ジャズ>

サントロペーの仲間達

<シャンソン&カンツォーネ>

足立恵二トリオ

<ジャズ、ポップス、フュージョン>

Nami Adachi & Akihiro Kajiwara

<イージーリスニング>

The Juke Box <オールディーズ>

カケラバンク <ポップス>

入場者：3,740人

【第23回宵山に箏曲を聴く夕べ】

日時：7月16日(月・祝)

第1部 午後4時30分～6時

第2部 午後7時～8時30分

主催：京都文化博物館

後援：京都文化博物館友の会・京都文化博物館ろうじ

店舗博和会

会場：京都文化博物館 別館ホール

演奏者：生田流宮城社麗調会社中(箏曲演奏)

入場者：750人

* 祇園祭協賛事業として開催し、午後8時30分まで別館の開館時間を延長した。

V-3 学習普及活動

1) ボランティア

【新ボランティアの体制について】

2011年7月9日のリニューアルオープンに伴い、現在(2012年度)179名のボランティアが活動している。ボランティアは“ぶんぱくボランティアガイド”と“アソシエイトボランティア”の2つに大きく分かれ、“ぶんぱくボランティアガイド”は2階総合展示室の案内をおこなう“フロアスタッフ”と音楽会や講演会、ワークショップなどのイベントサポート業務をおこなう“イベント・サポートスタッフ”からなる。

フロアスタッフは日本語58名、英語28名、中・韓・伊のその他の外国語8名の94名が朝10時から夜7時30分までの間、3交代制で活動をおこなっており、その他の外国語は事前予約があれば対応となっている。

イベント・サポートスタッフは19名おり、イベントのサポート業務にとどまらず企画もおこなっている。今年度はぶんぱく子ども教室として「博物館でお仕事体験」「ぶんぱくでひな祭り」「館内ぐるぐる探検ツアー」を企画・運営した。

アソシエイトボランティアは66名おり、博物館の広報活動への協力や臨時のサポート、館への意見等をもらうなどの活動をおこなっている。

今年度は、「雛人形展」など通史以外の総合展示室や特別展の研修以外に、初の館外研修が9月2日と4日の2日にわかれて開催された。行き先は“奈良県立万葉文化館”。研修には72名のボランティアが参加し、ボランティア同士の交流をはかるとともに 歴史・文化に関する知識を深めた。

活動が始まって1年が経つこともあり、最近は、ボランティア主催の自主勉強会も多数開催され、ブラッシュアップにつとめている。



ボランティア研修の様子

2) 「ぶんぱく子ども教室」事業

今年度からは学習普及・外部連携室が軸となり、学芸員の企画による、あるいはボランティアスタッフが主体となって企画運営をおこなう「ぶんぱく子ども教室」の活動を行った。また今年度は「平成24年度文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)ミュージアム活性化支援事業」の補助を受け開催した。

学習普及・外部連携室チーム(洲鎌佐智子、村野正景、高桑鉄則、田中真希代)

【第1回/館内ぐるぐる探検ツアー】

日時：2012年8月4日(土) 午後2時～4時

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：19名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。

- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第2回／夏休み!ぶんぱく京力隊講座～学芸員と挑戦～】

日時：2012年8月24日(金)午後2時～4時

担当者：当館学芸員

参加者数：7名

実施目的：

- ①学芸員と顔対面で接しながら、ほんまもん資料への出会、きっかけづくり、また資料のアプローチの仕方などを学んでもらう。
- ②博物館にはさまざまな分野があり、それぞれの入口を様々な形でやさしく提供する。
- ③資料だけでなく、展示している学芸員の顔も見える貴重な機会でもあり、楽しい対話の中で子どもたちが自発的に学ぼうとするサポートをし、人的コミュニケーションの場を通して親しみある博物館を体験してもらう。

【第3回／京友禅の職人さんと作るオリジナルTシャツ】

日時：2012年10月20日(土)

第1回 午前10時30分～正午

第2回 午後1時30分～4時

外部講師：宮田昌幸

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：各回12名

参加費：900円

実施目的：

- ①体験や職人さんのお話を通して、京都の伝統工芸でもある友禅染に関心をもってもらおう。
- ②日頃使う水彩絵の具では無く、染料をつかうことによってさまざまな着色用の絵の具があることを知ってもらう。
- ③各自、創作性をはぐくみ自分だけのTシャツを完成させる達成感を味わってもらう。
- ④世界や地域の社会のあり方について考える。
- ⑤ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第4回／博物館のお仕事体験 展覧会を開いてみよう！】

日時：2012年11月18日(日) 午前10時～4時

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：1名

実施目的：

- ①博物館の仕事の一端を知ってもらう。
- ②展示がどのような手順で行われているかを知ってもらい、展示そのものにも興味をもってもらおう。
- ③ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第5回／夜の撮影会 一子編編 高橋匡太の映像作品 に出演するワークショッププログラム】

日時：2012年12月8日(土)午後6時～8時

外部講師：高橋匡太

担当者：林 智子

参加者数：29名

実施目的：

- ①現代美術家高橋匡太のインスタレーション作品「いつかみる夢」に使用する映像の撮影に、キャストとして参加すること。
- ②京都文化博物館別館に対する理解を深めること。



「ぶんぱく子ども教室」の様子

【第6回／京都の色はどんな色？

土で絵の具を作ってみよう！】

日時：2012年12月23日(日) 午後2時～4時

担当者：村野正景

参加者数：11名

実施目的：

- ①どこでも手に入る身近なもので、簡単に絵の具がつくれてしまうという驚きと楽しさを知ってもらう。
- ②土に直接触れたり、よく観察したりする機会をつくり、身近な土、ひいては身近な環境へ興味を喚起する。
- ③総合展示(常設展)の「土層はぎとり標本」をよみとるためのきっかけをつくる。

【第7回／京都美術ビエンナーレで、

最新美術に触れてみよう！】

日時：2013年1月14日(月・祝) 午後2時～4時

担当者：洲鎌佐智子

参加者数：4名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②旬な美術に触れてもらう。
- ③美術に実際に触れ、同じ年齢の子どもたちと自分の感じたこと思ったことを言葉にして話す機会をもってもらおう。
- ④自分の気になる作品やお気に入りの作品を選ぶように、自分の感性を探ってもらおう。
- ⑤作品の写真を見たときと、実際の作品を見たときでは、どんなところが違って見えるかを体験してもらい、実際に作品をみることの素晴らしさを体験してもらおう。

【第8回／楽しい古文書講座

ーレシートから考える古文書ー】

日時：2013年2月3日(日) 午後2時～4時

担当者：西山 剛

参加者数：6名

実施目的：

- ①歴史像を構築する上で重要な古文書に対する理解を促す。

②普段は触ることのできない古文書に手を触れてもらう。

③生活の記録ともいえるレシートを素材とすることで、歴史的な著名な人物や、事実だけを追求するのが歴史学なのではなく、日常の日々の営みに光をあてていくことが重要であることを強調する。

【第9回／ふんぱくでひな祭り

～おひな様のお話と工作～】

日時：2013年2月24日(日)

第1回 午前10時30分～正午

第2回 午後1時30分～4時

担当者：イベント・ボランティア

参加者数：第1回=15名、第2回=3名

実施目的：

- ①ひな祭りの歴史や文化を知ること、日本の伝統行事の素晴らしさを感じてもらい、興味を持ってもらう。
- ②ひな人形を自分で作ることで、ひな祭(ひな人形)をこれまでよりも身近に感じてもらう。
- ③このイベントを通して博物館に親しんでもらう。
- ④ボランティアスタッフの発案、準備、実施による事業として、ボランティアの自発性の育成を図る。

【第10回／すべすべ？ふわふわ？ 木綿で遊ぼう！】

日時：2013年3月3日(日) 午後2時～4時

担当者：林 智子

参加者数：7名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館がどういうところかを知ってもらう。
- ③博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。
- ④新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。

【第11回／ぶんぱく京力隊 博物館ふしぎ発見】

日時：2013年3月20日(水・祝) 午後2時～4時

担当者：当館学芸員

参加者数：9名

実施目的：

- ①京都文化博物館を知ってもらう。
- ②博物館に親しんでもらい、博物館をより身近に感じてもらう。

③新しい友達や仲間づくりを通じて、社会性を養ってもらう。

④学芸員のほとんどが参加する企画であり、子どもと学芸員との楽しいコミュニケーションの中からもいろいろな「気づき」が生まれてほしい。

⑤子ども目線の博物館ガイドとしてデータを蓄積していく。

3) 団体見学案内

個人での来館とは別に、数人から100人程度のグループによる来館がある。これに対しては、事前の申し出があれば施設、総合展示、特別展等の解説に応じている。2012年度の来館件数は156件であった。このうち解説を行ったのは、70件である。団体来館は学校の授業、修学旅行などの行事の一環として行われることが主体で、全体の半数をしめるが、各種の文化サークルや団体旅行での訪問も多い。学校の区分では中学校と大学が一番多く、高校がつづく。

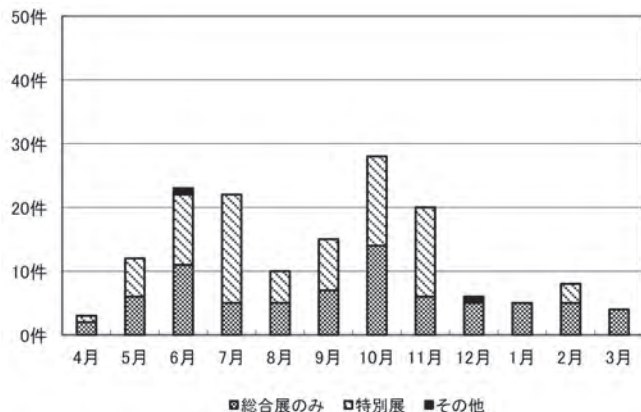
本年度は、6月・10月の団体申し込みが多く、両月ともに昨年より10件以上多い申し込みがあった。特に10月は30名以上の団体が多数あったことから、6月の倍以上の来館者数を記録している。

団体申し込みの半数は学校からの申し込みで、昨年度より30件以上増えていて全体的にも増加している。リニューアルをおこない、約1年経つが引き続き興味、関心が多くよせられていることが伺える。

【2012年度団体見学案内件数】

2012年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	60	451	627	543	310	402	1460	623	196	51	158	166	5047
来館件数	3	12	23	22	10	15	28	20	6	5	8	4	156
解説件数	1	8	8	11	7	11	7	8	2	2	3	2	70

【月別申込み件数】



【団体種類別件数】

団体	件数
小学校	8
中学校	28
高校	12
専門学校	1
大学	28
支援学校	3
一般	76
合計	156

V-4 博物館実習

【実施期間】

2012年8月6日(月)～8月10日(金)

【実習生】

京都府立大学…………… 4名
立命館大学…………… 4名
京都造形芸術大学…………… 2名
京都外国語大学…………… 2名
京都教育大学…………… 1名
京都女子大学…………… 1名
京都橘大学…………… 1名
京都文教大学…………… 1名
滋賀県立大学…………… 2名
関西学院大学…………… 1名
金沢美術工芸大学…………… 1名(計20名)

【実習内容／担当者】

- ・博物館の概要・館内見学／植山 茂、畑 智子
- ・映像資料について／森脇清隆、大矢敦子
- ・染織資料について／林 智子
- ・美術資料について／植田彩芳子、森 道彦
- ・工芸資料について／洲鎌佐智子
- ・文献資料について／西山 剛
- ・考古資料について／村野正景、植山 茂
- ・民俗資料について／橋本 章、植山 茂
- ・学習普及活動参加／洲鎌佐智子、村野正景
- ・展覧会事業/展示環境について／畑 智子
- ・まとめと反省／全担当学芸員

V-5 資料・情報公開

1) 資料閲覧室

当館の図書資料は、歴史・考古・美術・工芸・映像など多分野にわたり、現在単行本約75,890冊、逐次刊行物約3,080タイトル(72,980冊)を収蔵している。なかでも埋蔵文化財の発掘調査報告書が約32,500冊、展覧会図録が約12,780冊と多く、また、映画のシナリオを約12,000冊収蔵しているのも特徴である。これらの

図書資料については、研究目的で特に閲覧を希望する者に対して公開している。なお、本年度の書籍の受け入れ数は約2,450件であり、その内、埋蔵文化財発掘調査報告書が約520冊、展覧会図録が約280冊、年報・紀要類が約390冊であった。

2) ホームページによる広報とコンテンツの提供

webサイトでは、随時改良を行いながら最新情報の発信を行っている。アクセス数も年々増加し、広報ツールとしてさらにwebサイトへの期待が高い。2012年度の特徴として特別展へのアクセス数が昨年より伸び

ている。その他、地図、交通機関、特別展スケジュール、フィルムシアターへのアクセスが上位を占めている。今後もさらにページの改良をすすめ、見やすく、親しみやすいホームページ作りを目指していく。

【ホームページの利用状況】

2012年度	総 数	一日平均
アクセス数	812,048	2,224
ページビュー	2,043,362	5,598

2012年度	
内訳上位	
1. トップページ	459,082 (22%)
2. 特別展	329,009 (16%)
3. 地図交通機関	142,551 (7%)
4. 特別展スケジュール	133,612 (7%)
5. 映像ホール	118,699 (6%)

V-6 外部連携活動

1) 他館との連携

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

① 京都市内4館連携協力協議会

京都国立近代美術館、京都国立博物館、京都市美術館、京都文化博物館の4館による連携協力及び館運営にかかる情報交換を円滑におこなう目的で、京都市内4館連携協力協議会(「京都ミュージアムズ・フォー」)が平成21年6月12日に発足した。平成24年度は、「京都ミュージアムズフォー連携講座」(年間4回、各館持ち回り)を開

催したほか、4館合同で各館の年間スケジュールを掲載したリーフレットを作成し、あわせてスタンプラリー、各館友の会会員の相互割引制度を実施した。

V-6 外部連携活動 ▶ 1) 他館との連携

② 事業協力

【「関西文化の日」事業への連携】

関西広域連携協議会、関西元気文化圏推進協議会主催の本事業に、平成24年11月17日、18日の両日協力した。総合展示を無料開放し、2日間で1,109人(17日：443人、18日：666人)の方々にお越しいただいた。

【「ミュージアムぐるっとパス関西2012」への参加】

関西の2府4県(大阪、京都、兵庫、奈良、滋賀、和歌山)を中心とした合計65施設で利用が可能な「ミュージアムぐるっとパス関西2012」事業に参加した。主催

は65の参加施設で組織する「ミュージアムぐるっとパス関西2012」実行委員会である。パスを購入すると、対象施設で入場が無料となるなど様々なサービスが受けられる。当館については、総合展示入場料が無料、特別展示入場料が前売り料金となる特典を設定した。2012年度の当館での利用者数は、総合展示268人、特別展示388人であった。

2) 地域との連携

【「きものの似合うまち・京都」づくり推進事業への協力】

今年も昨年に引き続き、10月1日(月)から12月25日(火)まで、本事業に協力した。きものを着用した来館者に対する割引事業で、当館では総合展示入場料を無料、特別展示入場料を前売り料金に割引している。特別展「シャガール展2012－愛の物語」の期間中(10月3日～11月25日)のきもの着用者は244人であった。期間中は和服姿の来館者が多く、利用者も多かった。

本事業は京都府、京都市、京都商工会議所、財団法人 京都和装産業振興財団、京都織物卸商業組合、西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、西陣織物産地間屋協同組合、京染卸商業組合の9団体で構成する「きものの似合うまち・京都」実行委員会の主催事業であり、2001年度から始められたものである。

【姉小路行灯会への協力】

日時：2012年8月25日(土) 午後6時頃～9時

内容：姉小路を考える会が例年開催している行事で、烏丸～富小路間の姉小路通りの両側に400基以上の行灯を並べ御池中学校の生徒によるプラスチックバンド行進などの各種イベントがおこなわれた。当館ではこの行灯20基を製作・設置し、同行事への協力を行った。

V-7 京都文化博物館友の会

友の会は、歴史、美術、工芸、映像等に興味を持つ人々が、京都文化博物館を通して楽しみながら博物館活動に協力することを目的とする。

1) 会 員

【会員の特典】

- ・ 会員証で特別展・総合展示(映画鑑賞含む)の無料での鑑賞(B会員は特別展2回まで無料、3回目からは団体料金)
- ・ 会員同伴者5名様まで入場料20%割引(B会員は同伴者1名まで)
- ・ 当博物館発行の出版物の割引
- ・ 友の会が主催・後援する行事等の案内
- ・ 催事案内や各種行事案内等の送付
- ・ 当館会員証で京都国立博物館、京都国立近代美術館、京都市美術館の特別・常設展が団体料金の割引

【会費】

- ・ A会員=年会費6,000円
- ・ グループ会員(2名以上)=年会費5,000円
- ・ B会員=年会費4,000円

【会員の概要】

会員には、従来の個人会員を移行したA会員、2名以上で入会するグループ会員、また昨年度より総合展示室・フィルムシアターの観覧を中心とするB会員を設け、三つの区分に分け運営を行っている。

A会員は、昨年より減少しているものの大半がB会員に移行している。グループ会員も若干ではあるが増加している。また、B会員については大幅な会員増加につながった。

また、B会員は比較的廉価なため、20～30代の新規加入を期待している。なお、昨年度のB会員加入者の更新率が39.6%と低く、会費の割引等の継続特典を検討する必要がある。

今後は、さらなる新規会員の獲得を目指すとともに、既会員はもちろん今年度新たに入会した会員に対して次年度以降も継続して加入してもらえよう、友の会事業の内容の充実とサービスの向上を図りたい。

●会員数の推移

	2012年度	2011年度	2010年度
A会員	445	459	435
グループ会員	228	214	160
B会員	214	139	—
計	887	812	595

●新規加入者数

	2012年度
A会員	104
グループ会員	75
B会員	159
計	338

●職業

会社員	149
公務員	28
教員	31
自営業	72
自由業	26
学生	12
その他	64
無職	505

●男女構成

	男性	女性
A会員	67.2%	32.8%
グループ会員	41.2%	58.8%
B会員	67.3%	32.7%
計	60.5%	39.5%

●年齢分布

10代	1
20代	20
30代	42
40代	61
50代	142
60代	267
70代	256
80代	92
90代以上	6
不明	0
最高齢	94
平均	64.13歳

●住所分布

京都市内	646
京都府内	77
近畿圏内	151
その他の府県	13

(近畿圏内の内訳)

大阪府	81
兵庫県	27
滋賀県	33
奈良県	8
和歌山県	2
計	151

2) 事業概要

① 文化講座・見学会等

【見学会「京都名所散策シリーズ

～『都名所図会』を読み解く～」②】

2012年7月15日(日)午前10時～11時30分

場所：長楽寺～八坂神社

講師：西山 剛 当館学芸員

参加者数：17名



「京都名所散策シリーズ
～『都名所図会』を読み解く～」見学会の様子

【見学会「別館ガイドツアー」】

2013年3月10日(日)

第1回 午前10時30分～正午

第2回 午後2時～3時30分

場所：京都文化博物館 別館

講師：植山 茂 当館学芸員

参加者数：第1回＝16名、第2回＝12名

② その他

【映画上映リクエストを募集】

会員を対象に、フィルムシアターにて上映する映画のリクエストを募集。リクエスト作品の中から5作品を選び、2月5日(火)～3月10日(日)に行われた「ぶんぱく青春映画祭 ヨリ道ノススメ2」にて上映した。

【「友の会通信」発行(毎月)】

会員への情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を発行。

VI ギャラリー事業

VI- 1 5・6階展示室

1) 京都文化財団展示室運営委員会

美術・工芸作家等が京都文化博物館5・6階展示室及び京都府立文化芸術会館展示室を使用するにあたって、展示室運営を適正かつ円滑に進めるために、京都文化財団では展示室運営委員会を設置している。本委員会の委員は学識経験者ならびに美術・工芸作家の中から理事長が委嘱し、任期は2年である。委員会の構成は学識者1名、日本画3名、洋画2名、彫刻1名、工芸3名(染織・陶芸・木工芸各1名)、書2名(仮名・漢字

各1名)、写真1名の計13名で、展示室の使用を希望する美術・工芸作家などの作品について審議している。

2012年度の委員会は以下のとおり開催した。

【開催日一覧】

委員会開催日	審議対象期間	件数
2012年 7月10日	2012年12月～2013年 3月	12
11月20日	2013年 4月～2013年 7月	13
2013年 2月19日	2013年 8月～2013年11月	14

2) 美術・工芸作家の利用

当館では、開館以来5階展示室に、又6階においては1997年7月より美術・工芸作家が利用できる場を設けている。利用期間を原則として毎月1週間以内と定め、府内に活動の本拠を持つ作家及び府内にゆかりのある作家に限定している。展示作品は、絵画・彫刻・

工芸・書・デザイン・写真・華道などのジャンルで、内容の充実しているものとし、利用の可否については、展示室運営委員会において利用申込者の作品を審議して決定している。

2012年度の利用件数は、38件であった。

【作家利用一覧】

会期	展覧会名	分野	会期	展覧会名	分野
2012 4.24～ 4.30	花は青い世界/2000年～2012年 赤井良子洋画展	洋画	9.19～ 9.23	森谷洋至[心眼]写真画展	写真
4.24～ 4.30	芦田英次写真展「野生魂」 ヒトはモノが無くては生きていけない!	写真	9.19～ 9.23	光風工芸「明日へのかたち展」	工芸総合
4.26～ 4.30	第36回 日本画春季光玄展	日本画	9.19～ 9.23	西川白悠展	書
5. 2～ 5. 6	山本悠雲書作展	書	9.25～ 9.29	時空(出口育子洋画作品展)	洋画
5. 2～ 5. 6	虎井誠光画「変貌の街」	写真	9.25～ 9.29	第32回 平安書道会 聚英展	書
5. 3～ 5. 6	前田正志還暦記念展	染織	9.25～ 9.29	京都ファインドアイ現代・文人光画展	写真
5.23～ 5.27	第24回 京都書作家協会会員展	書	10.24～10.28	平成24年度 京の名工展 併催 若手職人「京もの認定工芸士」作品展	工芸総合
5.29～ 6. 3	第30回 明日をひらく絵画 上野の森美術館大賞展関西展	洋画	11.28～12. 2	第24回 工芸美術 創工会展	工芸総合
6. 6～ 6.10	第16回 種々展	日本画	12.20～12.24	第21回 帆の会展	洋画
6. 6～ 6.10	第67回 京都丹平写真展	写真	12.20～12.24	書 十二月の会	書
6. 6～ 6.10	芽生展	日本画	2013 2. 8～ 2.10	第18回 京都橘大学 卒業制作展	書
6.19～ 6.24	第20回記念 光勲能面會展 【併催】還暦記念 大月光勲能面展	諸工芸	2.21～ 2.24	水明書道会 第7回 墨聚展	書
7. 3～ 7. 8	第4回 TheNIHONGA—伝統と創造—	日本画	3. 7～ 3.10	中・日現代精鋭書画作家展 ～書と非書の際～	書
7. 3～ 7. 8	第3回 「独楽の会」日本画作品展	日本画	3.14～ 3.17	第34回 京都現代書藝展	書
8.17～ 8.19	辛酉会書展 【併催】佐藤煒水華甲展	書	3.15～ 3.17	面匡会第22回 京都能面展	諸工芸
8.22～ 8.26	六轡会 vs 一隅会篆刻作品展	書	3.20～ 3.24	佐々木宏遠書作展	書
8.22～ 8.26	第13回 dpi展	写真	3.27～ 3.31	第56回 あまがつ会人形展	諸工芸
8.29～ 9. 2	第4回 洛展	日本画	3.27～ 3.31	第26回 面風會展—能面・狂言面—	諸工芸
8.30～ 9. 2	京都創造藝術協會展	美術総合	3.27～ 3.31	新日美・第36回 京都巡回展	美術総合
				計 38件(103日間) 35,405人	

【作家利用分野別件数・入場者数】

	美術						工芸				美術 工芸 総合	総計
	日本画	洋画	書	写真	彫刻	美術総合	染織	陶芸	諸工芸	工芸総合		
使用件数	6	4	12	6	0	2	1	0	4	3	0	38
割合(%)	16%	11%	32%	16%	0%	5%	3%	0%	11%	8%	0%	100%
入場者数	4,563	2,779	11,165	5,125	0	1,591	244	0	4,072	5,866	0	35,405
1件平均入場者数	761	695	930	854	0	796	244	0	1,018	1,955	0	932

*諸工芸には、能面・人形・七宝・漆芸を含む。

3) 生涯学習的発表期間の利用

1998年より、5階・6階各展示室に生涯学習的発表期間を設けた。これは美術・工芸作家の利用に準ずる利用期間として、美術・工芸作家及び技能芸能継承者の指導するグループの発表期間を設けたものである。

【生涯学習利用展覧会別入場者数一覧】

	会期	展覧会名	分野	入場者数
5階	2012 4.19～4.22	萌葱会染色作品展“彩あそび”	染織/染色	665
		21th押し花アート展・華やぐレカンフラワー展	諸工芸	1,345
	4.24～4.30	「いのちのいりどり2012伊豆蔵明彦とその仲間たち」展	染織/染色	564
	5. 8～5.13	芦原正義写真展MYANMAR ～ワラビキ屋根ノ小サナ村～	写真	721
	5.10～5.13	箔の煌めき	諸工芸	687
	5.10～5.13	夢絵作家 久楽迎古 和紙夢絵展	諸工芸	960
	5.10～5.13	中沢玲子パッチワーク教室「草結び」展	諸工芸	1,182
	5.16～5.20	日韓結び文化展in京都	諸工芸	1,512
	6. 6～6.10	朝日カルチャーセンター京都 木版画教室 第28回展示会	諸工芸	686
	6. 7～6.10	古都に響くことばの調べー京のみやこ文学展	その他	343
	6.22～6.24	第10回 佳趣会書展 併催：10回展記念「佳風の小部屋」あの日・その時・そして今	書	601
	7.14～7.17	第4回京都・全日本水墨画秀作展 全国公募/水墨画・俳画・文人画の茶掛及び屏風188展の展示	書	1,196
	7.24～7.29	京都嵯峨芸術大学芸術学部造形学科日本画分野3・4回生展「shu・ha・ri」	日本画	305
	8. 7～8.12	第8回菅橋彦大賞展 テーマ「暮らしの情景」現代日本画コンクール	日本画	973
	8.30～9. 2	プレール 上田ミチヨソーイング教室展	諸工芸	260
	9. 4～9. 9	未来へ向かう美しい同行 韓・日陶芸交流展(京都府、九州、慶尚北道)	諸工芸	523
	10. 4～10. 8	堺市・パークレー市姉妹都市提携45周年記念 堺・パークレー国際アートブリッジ交流展2012	(美術)総合	284
	10. 5～10. 8	第二十九回 龍雲会書道展	書	667
	10.12～10.14	有岡由利子パッチワークサークルキルト展2012	諸工芸	1,353
	10.16～10.21	アークコーポレーション20周年記念展 ARK of ART	(美術)総合	464
	10.30～11. 7	ダウン症の天才書家 金澤翔子 ー共に生きるー	書	3,004
	11. 8～11.11	第46回心象書展	書	1,446
	11.13～11.18	家族の肖像・年賀状の32年	写真	882
	11.15～11.18	京都大学写真部OB会第8回京都展	写真	716
	11.15～11.18	第20回早蕨会書展	書	715
	11.16～11.18	絵更紗美術協会 彩素会展2012	染織/染色	432
	12.11～12.16	Illustrial A to Z 50+京都嵯峨芸術大学短期大学部イラストレーションOG・OB展	(美術)総合	868
12.13～12.16	楽しい折り紙の世界ー京都折紙倶楽部 8年のあゆみ展ー	諸工芸	677	
12.13～12.16	京都精華女子中学・高等学校主催「精華美術展」	(美術)総合	894	
2013	1.11～1.14	沙羅書芸教室新春書芸展	書	1,022
	1.18～1.27	第25回京都美術文化賞受賞記念展 川村悦子・福本潮子・伊部京子	(美術)総合	2,281

5階	2.13 ~ 2.17	京都工芸繊維大学 卒業制作展	(美術)総合	1,119
	2.21 ~ 2.24	招き猫展 市瀬俊治	諸工芸	459
	3. 1 ~ 3. 3	第26回全国シルバー書道展(京都展)	書	1,169
	3. 6 ~ 3.10	第12回福知山市佐藤太清賞公募美術展	(美術)総合	545
	3.14 ~ 3.17	アイトワ人形教室 第20回記念展“めぐる季節のなかで”	諸工芸	1,329
計36件 使用日数：171日				32,849

	会 期	展 覧 会 名	分 野	入場者数	
6階	2012	4.13 ~ 4.16	春のいけばな展『280畳の大広間で江戸時代のいけばな作品を再現』	その他	8,506
		5. 8 ~ 5.12	第5回 小林千恵子 道草のあと	諸工芸	244
		5.19	体験学習(京舞)	その他	80
		5.22	体験学習(京舞)	その他	60
		6. 2	体験学習(京舞)	その他	70
		7.16	陝西省 漫画・アニメ展	その他	320
		8. 3 ~ 8. 5	(公財)片山家能楽・京舞保存財団 第16回 能装束・能面展	(工芸)総合	1,001
		10. 4 ~ 10. 7	繡華の饗宴 アトリエけい子/NHK文化センター京繡教室合同作品展	諸工芸	450
		10.17 ~ 10.18	京都シニア大学 第40回学園文化祭・作品展示会	(美術)総合	369
		10.19 ~ 10.21	第二回絲織会 吉田手織工房京都教室作品展	染織/染色	245
		11. 3 ~ 11. 4	金澤泰子講演会	その他	360
		11.10 ~ 11.11	叡山学院墨跡展	書	256
		11.10 ~ 11.11	第25回竹心会書展	書	333
		11.16 ~ 11.18	第50回記念龍門社選抜書道展	書	942
		12.22	島田塾 地唄・箏曲勉強会	その他	130
	2013	1.27	にいみお習字教室書初展	書	292
		2.13 ~ 2.17	京都工芸繊維大学大学院 修了制作展	(美術)総合	963
		3.20	風楽和<華>コンサートvol.2	その他	34
		3.24	規矩確立220年記念遠州いけばな展	その他	250
		3.30 ~ 3.31	澄虹書道教室展	書	213
計20件 使用日数：45日				15,118	

【生涯学習利用分野別件数・入場者数】

	和装 呉服	美 術							工 芸					美術 工芸 総合	総計	
		日本画	洋画	書	写真	その他	美術総合	小計	染織	陶芸・金工・漆	諸工芸	工芸総合	小計			
5階	件数	-	2		8	3	1	7	21	3		12		15		36
	日数	-	12		34	16	4	40	106	14		51		65		171
	人数	-	1,278		9,820	2,319	343	6,455	20,215	1,661		10,973		12,634		32,849
6階	件数	-			5		9	2	16	1		2	1	4		20
	日数	-			10		13	7	30	3		9	3	15		45
	人数	-			2,036		9,810	1,332	13,178	245		694	1,001	1,940		15,118

4) 一般の利用

5階展示室及び6階展示室は美術・工芸作品の展覧会などの他、京物と称される京都の伝統産業製品を紹介することを目的とした展示会、内見会、見本市などの会場としても利用されている。

【一般利用分野別件数・入場者数】

場所	和装呉服	染織	美術	工芸	その他	計
5階	件数	1	1		2	4
	日数	3	2		6	11
	人数	100	693		2,232	3,025
6階	件数	17			2	20
	日数	33			5	39
	人数	2,020			617	2,837

*美術：日本画、洋画、書、写真など
*工芸：陶芸、金工、竹工、漆芸、諸工芸など

VI- 2 別館ホール

旧日本銀行京都支店(重要文化財)の営業室であった別館ホールは、通常は明治時代の代表的な洋風近代建築の内部を公開しているが、一方で多目的ホールとしての機能も持っている。特別展の開会式やレセプション、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

ン、音楽会など館主催の事業に使用するとともに、貸会場として展覧会や音楽会、古本市等の商業催事から結婚式まで様々な催事の利用に供している。

【別館利用状況一覧】

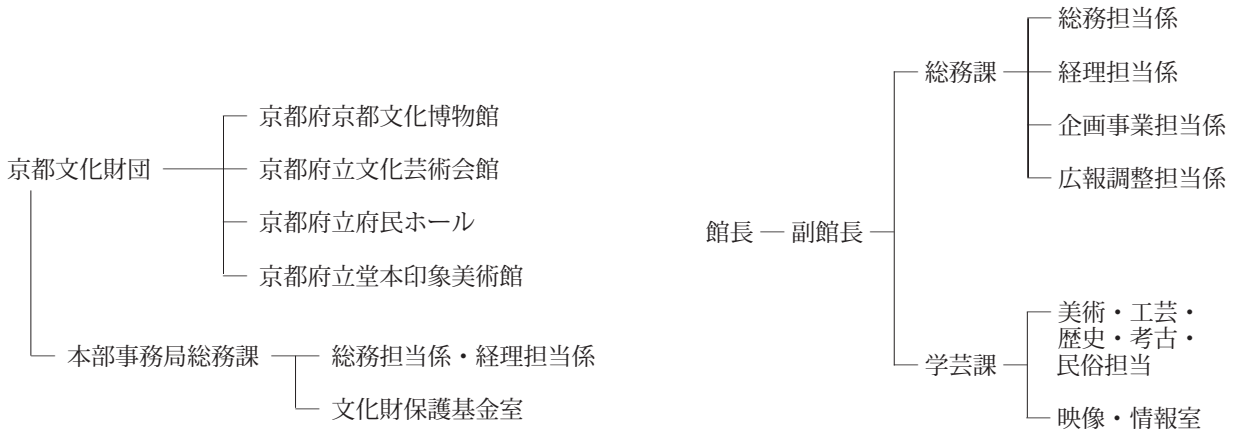
会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
2012.			
4. 3～ 4. 4	スコープココ新作・新ブランド発表会	8. 6～ 8. 7	総和プロジェクト
4. 8	山村有佳里&別所ユウキ デュオリサイタル	8.11	常味裕司アラブ音楽アンサンブルFarhaコンサート Farha(ファルハ・喜び)京都公演
4.11～ 4.15	2012年春むす美展「ふるしき、むすんで、つないで」 2012年第7回むす美ふるしき公募展	8.25	唾撫駆版洛虫洛外図 五の段「月下のカンナ」
4.20	パッハ週間 in 京都 2012 古楽アンサンブル ～パッハに至るまでの音楽～	8.26	ギターで癒しのひとときを-III-
4.21	あんさんぶる・やしよめ～箏のしらべにのせて～	8.28	瀬崎紀子&河村晋吾ピアノデュオリサイタル
4.22	ドビュッシーとその周辺 第5回～ドビュッシーとルーセル～	8.31	光の音符 第19回主催演奏会 オルガン伴奏による松下悦子ソプラノリサイタル
4.27	パッハ週間 in 京都 2012 プラスアンサンブル	9. 2	磯貝亜美ピアノリサイタル
4.28	ジュスカ・グランペール千年の戀 Tour 2012	9. 6	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.38「ロマンティックな室内楽」
5. 5	ウェディング	9. 8	染織光悦會展
5. 6	2012御所南バイオリンスクール春の発表会 ～弦楽器、ピアノ、声楽による独奏会～	9.15～ 9.17	京都アートフリーマーケット2012秋
5.12	夢絵作家 久楽迎古 和紙夢絵展トークショー	9.22	楽 GAKU・SARABANDE～前田健ギターリサイタル～
5.19	ウェディング	9.23	右脳と左脳のサロンコンサート ～あなたもきつと踊りたくなる…かも～
5.20	アルケミスト「こどものうた みんなのうた～京都～」	9.28	ジョイントコンサート～貴方への手紙2通目～
5.24	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.36	9.29	第4回健康塾
5.25	アテフ・ハリム ヴァイオリンリサイタル	9.30	JAZZ at Sanjo vol.11
5.27	FM802ラジオ公開収録	10. 4	セントラル・フロリダ・リリック・オペラの演奏家との スペシャルコンサート
6. 2	Tre Canti第3回音楽会	10. 6～10. 8	石川暢子回顧展—その45年の軌跡—
6. 4	全国天満宮梅風会総会	10.10～10.13	2012年秋 むす美展
6. 4	合唱交流	10.19	アークコーポレーション20周年記念コンサート
6.11	日本工芸会近畿支部通常総会	10.20	La Boheme
6.23～ 6.28	大河ドラマ「平清盛」全国巡回展	10.21	チェコ・フィルハーモニー弦楽三重奏団
6.29	The Mostly Piano Duo LIVES	10.26	「笛の楽園」Vol.1
7. 1	京都フランス歌曲協会	10.27	歌の花束
7. 7	天の川で逢いましょう～届けウタのチカラ！ 千綿とナカノで生声LIVE！	10.28	きさらぎコンサート
7.14～ 7.15	祇園祭協賛 祇園祭ミュージアムコンサート	11. 1～11. 4	着物二恋スル季節展
7.16	祇園祭協賛 宵山に箏曲を聴く夕べ	11. 9～11.11	KPA「メイキング・ワークショップ2013」
7.21	第30回レトワールブランシェ管楽合奏団演奏会	11.16～11.18	第14回佐々木真弓・アトリエエンジェルズステンドグラスランプ展
7.22	旅する長崎学講座「陽元禪師渡来と黄檗文化—長崎から京都へ—」	11.20～11.21	第84回詠友禅染競技会作品展
7.26	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol. 37「近・現代の室内楽」	11.23	JEUGIA子ども表現教室講師コンサート こどもと楽しむクラシックコンサート2012～動物の謝肉祭～
7.29	うたの会2012	11.24	平井真美子Piano Diary Concert
8. 4	ORBLYE 2nd Live	11.25	「音楽のおもちゃ箱」の仲間たち「コンサートフェア2012」
8. 5	Felix室内合奏団 第24回定期演奏会	11.29	“ウィーンからの贈り物”倉田真理PIANO CONCERT 2012 AUTUMN

会 期	展覧会・音楽会名	会 期	展覧会・音楽会名
11.30	京都市立芸術大学音楽学部60周年記念国際交流演奏会	2. 9～ 2.10	着物二恋スル季節展
12. 1	平山みきPresents娑婆羅ワールド 京都ライブコンサート	2.13～ 2.17	京都工芸繊維大学大学院 修了制作展
12. 2	きもの文化・実演ショー ～早く・楽で・美しい衣紋道の着付～	2.22	成安造形大学卒業制作展・進級制作展2013ファッションショー
12. 6	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズVol.39「珍しい編成の室内楽」	2.23	acut Fashion event「&」
12. 8	アンサンブル・セリオース クリスマスコンサート	2.24	Cocktail*vol.7
12. 9	松下悦子門下生声楽発表会「歌う会」	3. 2	第5回健康塾
12.13	Joyful bellsクリスマスハンドベルコンサート	3. 3	ヴァイオリン&ピアノ弾き語りデュオ50♪50 ポップスコンサート
12.15	JOYFUL CONCERT	3. 5	同志社女子大学音楽学科金管楽器専攻生有志によるアンサンブル コンサート BUN BUN BRASS 2013
12.16	2012 CHRISTMAS CONCERT京都室内合唱団 第17回定期演奏会	3. 7～ 3. 9	souvenir days in kyoto
12.20	プレス Christmas Night 2012	3.10	京都文化博物館友の会 別館ガイドツアー
12.21	ジョヴァンニ・ガブリエリ没後400年記念企画 “ヴェネツィアの栄華 サンマルコ寺院の壮麗なる響き”	3.14	京都フィルハーモニー室内合奏団 室内楽コンサートシリーズvol.40「室内楽の愉しみ」
12.22	西垣正信クリスマスコンサート	3.15	デジタル風俗画研究の可能性
12.23	アグネス倶楽部「真冬にとこなつのごんさあと」	3.16	I Remember MAL Homage to MalWaldron 河野康弘ピアノソロ
12.24	京都音楽劇団「京音」京都喜劇「大楽笑」クリスマスイベント	3.17	染織光悦會展
2013. 1. 5	京都アニメーション イベント	3.19	京都文化博物館ボランティア委嘱式
1.26～ 1.27	第5回JEUGIAミュージックサロン四条管弦発表会	3.20	JEUGIA PMC御池発表会
2. 1	京都公演 情熱の歌声をあなたにvol.III アンサンブルグループAMOREによる名手たちの饗宴	3.22～3.24	京都アートフリーマーケット2013春
2. 3	アートフリーマーケット説明会	3.26～3.31	京都大学高松伸研究室建築作品展「ORIGIN」
			入場者数 計 120,917 人

VII 管理・運営

VII- 1 組織と職員

1) 組織



※総務担当係及び経理担当係は京都文化財団本部総務課を兼ねる。

2) 京都文化財団

【京都文化財団役員名簿】

2013(平成25)年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
顧問	山田 啓二	京都府知事	理事	並木 誠士	京都工芸繊維大学大学院教授、美術工芸資料館館長
	千 玄室	前茶道裏千家家元、前京都文化財団副理事長		平林 幸子	京都中央信用金庫専務理事
理事長	荒巻 禎一	前京都府知事、京都文化博物館館長		深尾 憲一	弁護士
副理事長	山内 修一	京都府副知事		吉田 忠嗣	吉忠株式会社代表取締役社長
常務理事	神山 俊昭	京都文化博物館副館長	監事	岡田 博邦	一般社団法人京都銀行協会専務理事
理事	小林 正幸	京都銀行常務取締役		光田 周史	公認会計士
	高階絵里加	京都大学人文科学研究所准教授			

【京都文化財団評議員名簿】

2013(平成25)年3月31日現在

職名	氏名	所属等	職名	氏名	所属等
評議員会長	村井 康彦	前公益財団法人京都市芸術文化協会理事長	評議員	金剛 永謹	金剛流宗家
評議員	有馬 頼底	臨濟宗相国寺派管長		田中 恆清	石清水八幡宮宮司
	池坊 由紀	華道家元池坊次期家元		鶴田 憲次	洋画家
	今井 政之	陶芸家		名和 修	公益財団法人陽明文庫理事、文庫長
	岩淵龍太郎	京都市立芸術大学名誉教授		野中 信夫	元NPO MCEI専務理事
	上村 淳之	日本画家		日比野光鳳	書家
	大橋 通夫	前京都府教育委員会委員長		増田 正蔵	京都新聞社相談役
	奥原 恒興	京都商工会議所専務理事		山本 壯太	「古典の日」推進委員会ゼネラルプロデューサー
	神林 恒道	大阪大学名誉教授		冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長

3) 京都文化博物館

【京都文化博物館職員名簿】

2013年(平成25年)3月31日現在

所 属	職 名	氏 名	担 当 業 務	備 考
	館長	荒巻 禎一	館総括	財団理事長 2003. 6～
	副館長	神山 俊昭	館業務総括	事務局長 2011.4～財団常務理事 2011.6～
総務課	課長	下河邊 英寿	課総括	財団本部事務局兼務 2012. 4～
	課長補佐兼総務担当係長	佐藤 幸央	総務担当業務	財団本部事務局兼務 1991.10～
	経理担当係長	宮本 幸樹	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2012. 3～
	企画事業担当係長	森 雅樹	企画事業担当業務	1992. 9～
	広報調整担当係長	磯野 眞知子	広報調整担当業務	2011. 4～
	主任	杉浦 美香代	総務担当業務	財団本部事務局兼務 2010. 5～
	主任	高桑 鉄則	企画事業担当業務	2007. 4～
	主事	奥田 紀子	経理担当業務	財団本部事務局兼務 2007. 7～
	嘱託	竹内 文香	企画事業担当業務	2012. 4～
保護基金室	参事・文化財保護基金室長	松田 寛	基金事業担当業務	財団本部事務局文化財保護基金室 2009.4～
学芸課	課長	畑 智子	課総括	2006. 6～
	課長補佐 学習普及・連携室長 主任学芸員	洲鎌 佐智子	工芸	1988. 5～
	課長補佐 映像・情報室長 主任学芸員	森脇 清隆	映像・情報	1990. 7～
	学芸員	林 智子	染織	2008.10～
	学芸員	植田 彩芳子	絵画	2010. 8～
	学芸員	西山 剛	歴史・文献	2010. 8～
	学芸員	村野 正景	歴史・考古	2011. 4～
	学芸員	橋本 章	民俗	2011.10～
	学芸員	森 道彦	絵画	2012. 4～
	学芸員	長村 祥知	歴史・文献	2012. 6～
	主査	植山 茂	考古・民俗	1979. 4～
	嘱託	大矢 敦子	映像・情報	2011.10～
	嘱託	青木 完一	映像	非常勤

VII- 2 施設

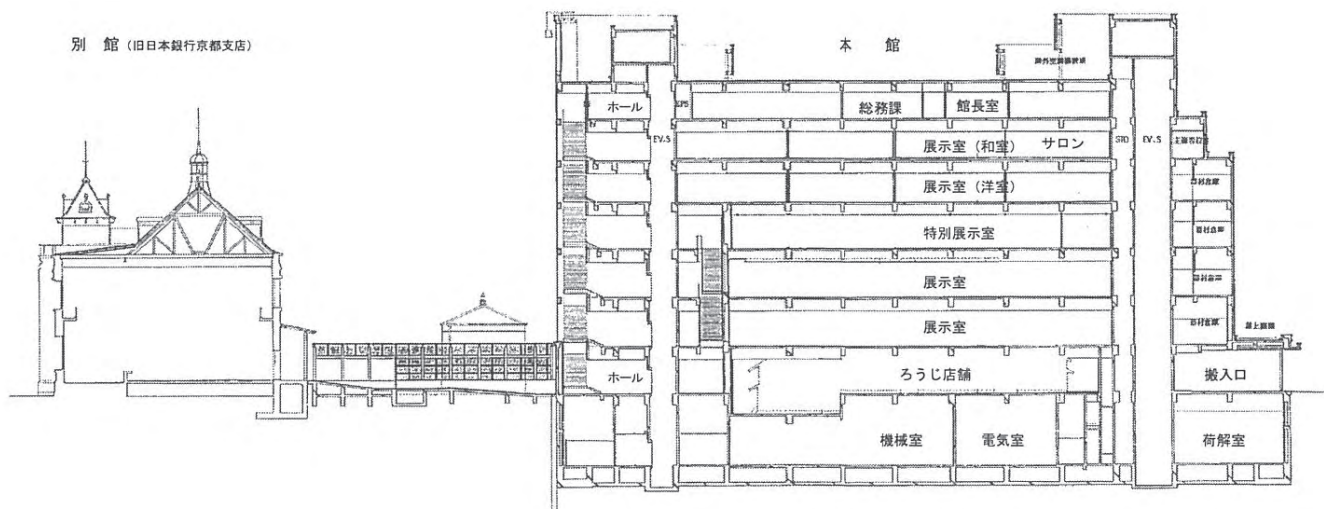
1) 本館関係

所在地：京都市中京区高倉通三条上ル東片町623-1
 設 計：京都府土木建築部営繕課・株式会社久米建築事務所
 施工期間：1986年10月～1988年9月
 2010年12月～2011年7月(リニューアル工事実施)
 敷地面積：4,790.3㎡(別館を含む)
 建築面積：3,646.5㎡(別館を含む)
 延床面積：15,854.7㎡(別館を含む)
 本館床面積内訳：
 地階……2,242.4㎡／1階……2,244.9㎡
 2階……1,892.9㎡／3階……1,908.8㎡
 4階……1,442.2㎡／5階……1,442.2㎡
 6階……1,218.3㎡／7階……1,010.4㎡
 塔屋……182.9㎡
 構 造：鉄骨鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造

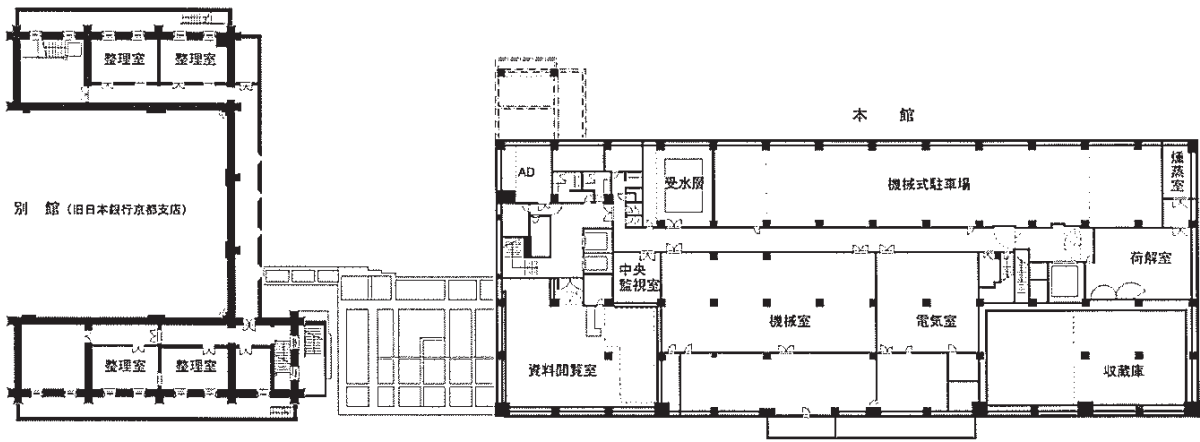
2) 別館関係

所在地：京都市中京区三条通高倉西入ル菱屋町48番地
 設 計：辰野金吾・長野宇平治
 施工期間：1903(明治36)年9月～1906(明治39)年6月
 延床面積：2,269.7㎡
 別館構造：建築面積……819.7㎡
 煉瓦造、2階建一部地下1階
 スレート・銅板葺、両翼塔屋付
 旧金庫構造：建築面積……237.1㎡
 煉瓦造、1階建、棧瓦葺
 指 定：重要文化財
 指定名称 旧日本銀行京都支店
 指定年月日 1969年3月12日
 指定書番号 建第1,708号

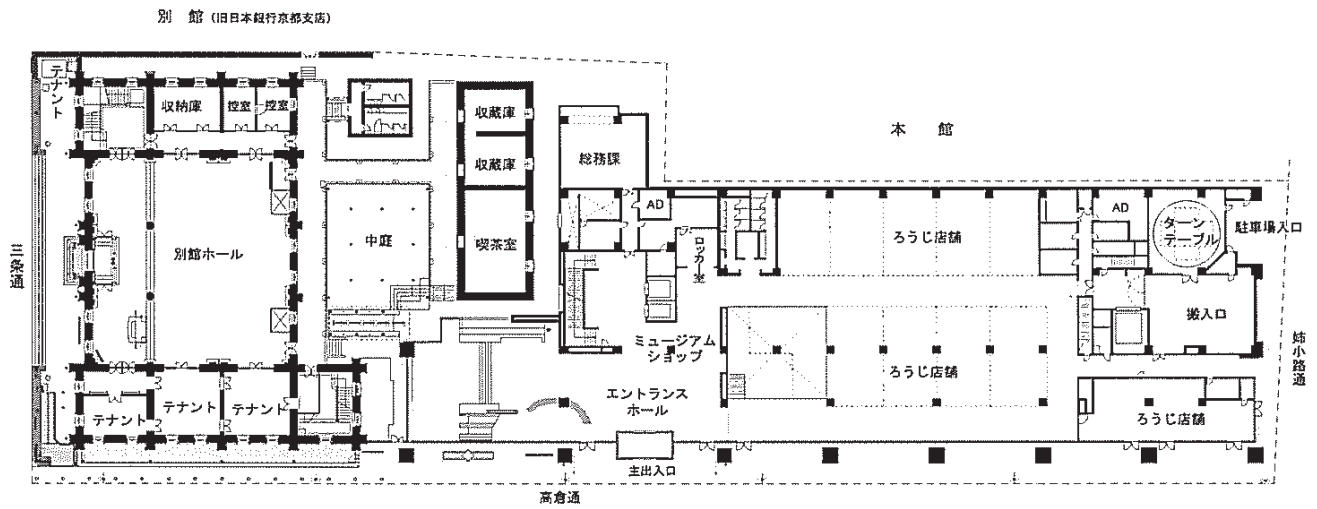
【京都文化博物館断面図】



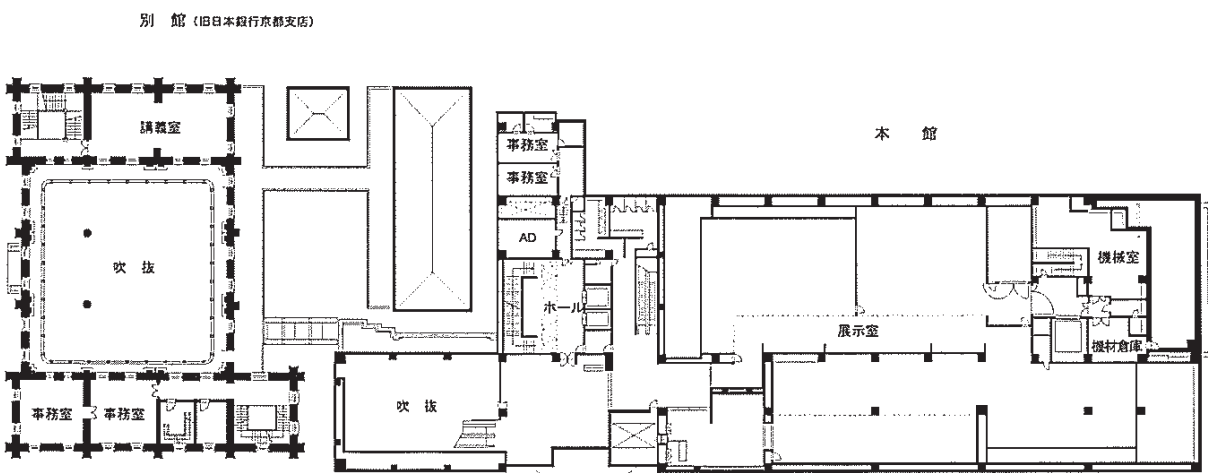
【京都文化博物館 地下1階平面図】



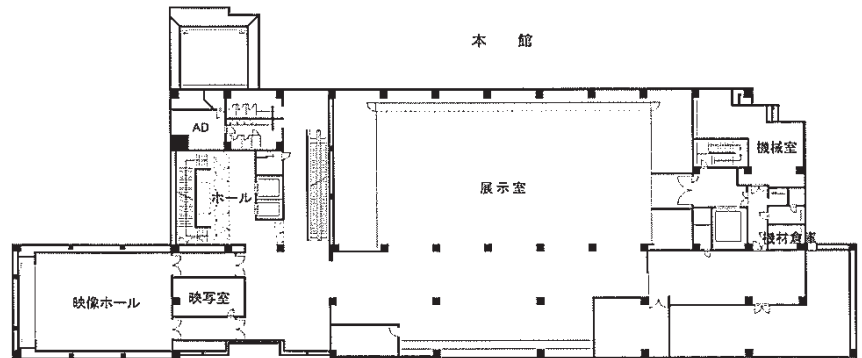
【京都文化博物館 1階平面図】



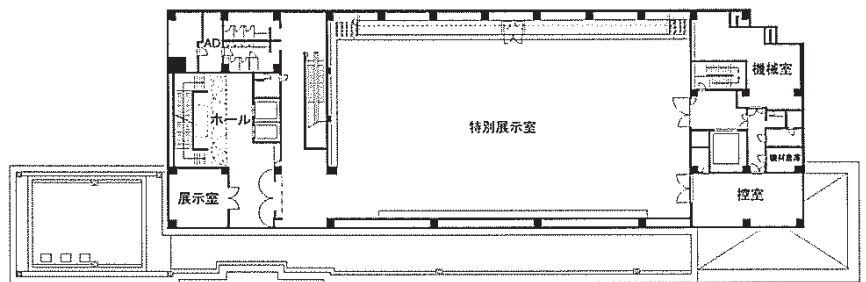
【京都文化博物館 2階平面図】



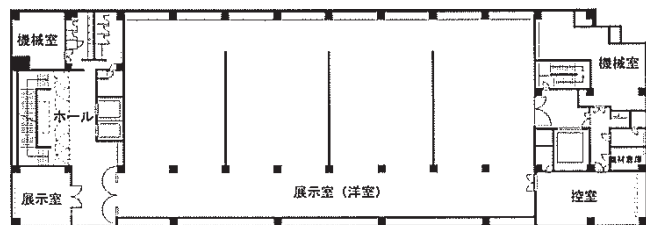
【京都文化博物館 3階平面図】



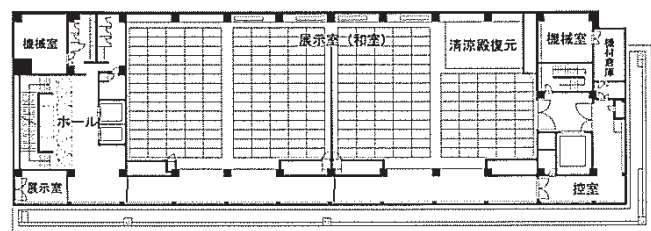
【京都文化博物館 4階平面図】



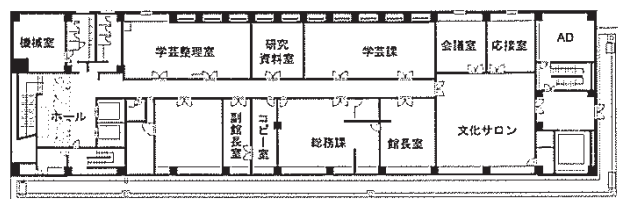
【京都文化博物館 5階平面図】



【京都文化博物館 6階平面図】



【京都文化博物館 7階平面図】



VII- 3 館内店舗

1) ろうじ店舗

「ろうじ店舗」は本館1階にあり、江戸時代末期の京町家の外観を復元したものである。高倉通側には京料理などの飲食店、西側の路地には京物と呼ばれる伝統工芸品や土産物を扱う物販店が営業している。

また、別館では、重要文化財を店舗として活用した喫茶の他、物販店、アートギャラリーが営業している。ろうじ店舗・別館店舗各店でつくる「ろうじ店舗博和会」は当館の協力会として催しにあわせて積極的に活動している。本年度のろうじ店舗利用者は169,877人であった。

【ろうじ店舗一覧】

- ◆和紙の店—楽紙館
- ◆京都和雑貨—菰軒
- ◆京のエッセンス16舗—名店会(順不同)
- 香老舗—松榮堂 京麩—半兵衛麩
- 京念珠—福永念珠舗 京菓子—鼓月
- 京佃煮—野村 宇治茶—福寿園
- 京扇子—とくの 京象嵌—川人象嵌

- 八ツ橋—井筒八ツ橋 京の額—古澤仙壽堂
- 京風雅便箋—表現社 野菜せんべい—京煎堂
- ちりめん小物—くろちく 京つけもの—西利
- 竹の匠—高野竹工 町屋手拭—永楽屋細辻伊兵衛商店
- ◆町家料理 鳥彌三あざみ
- ◆手打ちそば・蕎麦料理—有喜屋
- ◆ゆば・とうふ料理—京乃雪本舗 有福(平成25年2月未閉店)
- ◆和カフェ 京美山(平成25年3月開店)
- ◆エスプレッソコーヒー—コロラドコーヒー
- ◆京・嵐山上流の蔵—京丹山
- ◆ミュージアムショップ—便利堂

2) 別館店舗

【別館店舗一覧】

- ◆珈琲サロン—阿蘭陀館
- ◆Contemporary Art—JARFO京・文博
- ◆アートギャラリー arton art gallery
- ◆和小物—くろちく
- ◆クレープ・タピオカー—Crepe Ojisan・京都ラジオカフェ

3) 博和会・ろうじ行事

【博和会行事】

区 分	名 称	月 日
ろうじ祭	春季来客者増大キャンペーン(宗廣コレクション 芹沢鮭介展)	2012年 4月 7日～ 4月22日
	秋季来客者増大キャンペーン(ジャガール展 2012)	11月10日～ 11月25日

VIII 2012(平成24)年度 のあゆみ

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2012年		
4月 5日	総合展示「自然へのまなざし～新収蔵の優品から～」	(～6月3日／2階)
4月 7日	「宗廣コレクション 芹沢銈介展」開催	(～6月3日／4・3階)
4月13日	「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説	(林／4・3階)
4月21日	「宗廣コレクション 芹沢銈介展」記念講演会	(宗廣陽助／FT)
4月21日	総合展示「祇園祭一橋弁慶山の名宝一」	(～6月17日／2階)
4月27日	「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説	(林／4・3階)
5月 4日	「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説	(林／4・3階)
5月18日	「宗廣コレクション 芹沢銈介展」展示解説	(林／4・3階)
6月 5日	総合展示「表現への挑戦～新収蔵の優品から～」	(～8月5日／2階)
6月 7日	総合展示「北野天神絵巻一平成記録本一」	(～8月12日／2階)
6月16日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」開催	(～7月17日／4・3階)
6月17日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」演奏会	(荒尾努／AH)
6月21日	総合展示「祇園祭一山鉦巡行の歴史と文化一」	(～7月22日／2階)
6月22日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説	(植山／4・3階)
6月23日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」講演会	(高橋昌明／AH)
6月29日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説	(植山／4・3階)
7月 3日	〈クールスポット〉の実施(2階総合展示・3階フィルムシアター無料公開)	(～9月7日)
7月 6日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説	(西山／4・3階)
7月 7日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」歴史散策	(野口実／館外)
7月 8日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」講演会	(植山／FT)
7月13日	「NHK大河ドラマ50年特別展 平清盛」展示解説	(長村／4・3階)
7月14日	祇園祭ミュージアムコンサート一音楽の玉手箱	(15日／AH)
7月15日	友の会見学会「京都名所散策シリーズ～『都名所図会』を読み解く～」	(西山／館外)
7月16日	第23回宵山に箏曲を聴く夕べ	(生田流宮城社麗調会社中／AH)
7月26日	総合展示「祇園祭一菊水鉦の名宝一」	(～10月14日／2階)
7月28日	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」開催	(～9月23日／4・3階)
	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」講演会	(京谷啓徳／FT)
8月 3日	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」展示解説	(洲鎌／4・3階)
8月 4日	ぶんぱく子ども教室 第1回「館内ぐるぐる探検ツアー」	(ボランティアスタッフ／館内全体)
8月 6日	博物館実習	(～8月10日)
8月10日	総合展示「近衛家王朝のみやび 陽明文庫の名宝2」	(～10月8日／2階)
8月12日	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」記念コンサート	(CINQUE PENNELLI／AH)
8月17日	総合展示「よみがえる羅城門一模型の楽しみ方1・2一」	(～12月2日／2階)
8月17日	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」展示解説	(洲鎌／4・3階)
8月18日	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」ヴェネツィアの仮面(マスクラ)づくり	(洲鎌／AL)
8月24日	ぶんぱく子ども教室 第2回「夏休み！ぶんぱく京力隊講座～学芸員と挑戦～」	(学芸員／館内)
8月31日	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」展示解説	(洲鎌／4・3階)
9月 9日	「世界遺産 ヴェネツィア展 魅惑の芸術一千年の都」講演会	(陣内秀信／FT)
9月15日	京都アートフリーマーケット2012秋	(16日・17日／別館他)
10月 3日	「シャガール展2012一愛の物語一」開催	(～11月25日／4・3階)
10月 6日	「シャガール展2012一愛の物語一」講演会	(園侍寺司／FT)
10月 7日	「シャガール展2012一愛の物語一」記念イベント「紙芝居 シャガール～愛と自由の翼ひろげ～」	(森山道子・笹岡法子／FT)
10月12日	総合展示「京都府コレクション 鎌倉・室町 古筆の世界」	(～11月25日／2階)
10月12日	「シャガール展2012一愛の物語一」展示解説	(植田／4・3階)
10月14日	「シャガール展2012一愛の物語一」記念コンサート	(クレズマー楽団「オルケステル・ドレイデル」／AH)
10月18日	総合展示「祇園祭一霞天神山の名宝一」	(～1月6日／2階)
10月19日	「シャガール展2012一愛の物語一」展示解説	(植田／4・3階)
10月20日	ぶんぱく子ども教室 第3回「京友禅の職人さんと作るオリジナルTシャツ」	(宮田昌幸／2階作業室)

※事項欄の「FT」はフィルムシアター、「AH」は別館ホール、「AL」は別館講義室の略

月 日	事 項	
2012年		
10月26日	「シャガール展2012—愛の物語—」展示解説	(植田／4・3階)
11月 2日	「シャガール展2012—愛の物語—」展示解説	(植田／4・3階)
11月18日	ぶんぱく子ども教室 第4回「博物館のお仕事体験 展覧会を開いてみよう！」	(ボランティアスタッフ／2階作業室)
12月 1日	総合展示「細川家 永青文庫コレクション3 忠臣蔵と細川家」	(～1月16日／2階)
12月 6日	総合展示「京都府コレクション 池大雅—胸中の山水—」	(～1月27日／2階)
12月 8日	ぶんぱく子ども教室 第5回「夜の撮影会—子供編— 高橋匡太の映像作品に出演するワークショッププログラム」	(高橋匡太／AH)
12月15日	「重要文化財指定記念 八瀬童子—天皇と里人—」展 開催	(～1月14日／3階)
12月16日	「重要文化財指定記念 八瀬童子—天皇と里人—」展 講演会	(西山剛／FT)
12月23日	ぶんぱく子ども教室 第6回「京都の色はどんな色？土で絵の具を作ってみよう！」	(村野正景／2階作業室)
2013年		
1月 4日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」開催	(～1月20日／4階)
1月 4日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」別館ライトアップ	(～1月20日／別館)
1月 5日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」出品作家ギャラリートーク	(出品作家／4階)
1月 6日	「重要文化財指定記念 八瀬童子—天皇と里人—」展 フォーラム 基調講演	(宇野日出生／FT)
	「重要文化財指定記念 八瀬童子—天皇と里人—」展 フォーラム 八瀬赦免地踊	(八瀬郷土文化保存会／AH)
1月 9日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」特別出品 高橋匡太公開制作	(高橋匡太／AH)
1月10日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」特別展示「いつかみる夢」開催	(～1月20日／AH)
1月12日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」出品作家ギャラリートーク	(出品作家／4階)
1月12日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」ライブパフォーマンス	(高橋匡太他／AH)
1月13日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」アーティストトーク	(高橋匡太／AH)
1月14日	ぶんぱく子ども教室 第7回「京都美術ビエンナーレで、最新美術に触れてみよう！」	(洲鎌／4階)
1月19日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」ライブパフォーマンス	(高橋匡太他／AH)
1月20日	総合展示「細川家 永青文庫コレクション4 輝ける古代中国の至宝」	(～2月28日／2階)
1月20日	「京都府美術工芸新鋭展 2013京都美術ビエンナーレ」ライブパフォーマンス	(高橋匡太他／AH)
1月26日	総合展示「祇園祭—黒主山の名宝—」	(～4月14日／2階)
2月 1日	総合展示「京都府コレクション 雛人形名品展」	(～3月31日／2階)
2月 3日	ぶんぱく子ども教室 第8回「楽しい古文書講座—レシートから考える古文書—」	(西山／4階)
2月 9日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」開催	(～3月24日／4・3階)
2月10日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」講演会	(上村淳之／FT)
2月11日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」講演会	(草薙奈津子／FT)
2月15日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
2月16日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
2月22日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」展示解説	(植田／4・3階)
2月23日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
2月24日	ぶんぱく子ども教室 第9回「ぶんぱくでひな祭り～おひな様のお話と工作～」	(ボランティアスタッフ／2階作業室)
2月24日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」座談会	(荒木かおり・西野陽一・箱崎睦昌／FT)
3月 1日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
3月 2日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
3月 3日	ぶんぱく子ども教室 第10回「すべすべ？ふわふわ？ 木綿で遊ぼう！」	(林／2階作業室)
3月 8日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
3月 9日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
3月10日	友の会見学会「別館ガイドツアー」	(植山／別館)
3月15日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」展示解説	(植田／4・3階)
3月16日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
3月22日	京都アートフリーマーケット2013春	(23日・24日／別館他)
3月22日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)
3月23日	【「こころの京都百選」完成記念 特別展 日本画 こころの京都」出品作家によるギャラリートーク	(4・3階)

京都文化博物館2012(平成24)年度年報

発行日 2013年10月31日

編集・発行 京都府京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL：075-222-0888

FAX：075-222-0889

印刷 (株)吉川印刷工業所

〒601-8353 京都市南区吉祥院這登中町45-1

TEL：075-691-8186